

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [全学]	2年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。</p>	<p>韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、映画、インターネットを通して紹介します。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 韓国の文字「ハングル」を確実に読むことができる。</li> <li>2. 自己紹介ができる。</li> <li>3. 基本的な挨拶ができる。</li> <li>4. 丁寧な終結語尾で表現することができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎・第1課 韓国語について：「ハングル」の成り立ち	簡単な自己紹介の暗記
	2	基礎・第2課 基礎の母音：母音字の書き方と発音	基礎母音字10コの暗記
	3	基礎・第3課 基礎の子音：子音字の書き方と発音	子音と母音で文字作り
	4	基礎・第4課 複合母音：陽母音と院母音の組み合わせ	「ハングル」で名前書き
	5	基礎・第5課 末音（パッチム）の発音	韓国人の名前読み
	6	基礎・第6課 発音の変化：表音文字の特徴	教科書のCDで発音練習
	7	日本語の「ハングル」表記	日本の地名をハングルで表記
	8	第1課：文の構造	本文に合わせて自己紹介
	9	第2課：助詞	パソコンで文字入力
	10	第3課：名詞の否定文	57頁を使って否定文の練習
	11	第4課：存在詞	練習問題
	12	第5課：です/ますの語尾（フォーマル体）	練習問題
	13	第6課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	練習問題
	14	韓国の映画	映画のプリント提出
	15	第7課：です/ますの語尾練習	第1課～第7課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税）  参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を見て、韓国語で言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価  平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  前期の教科書の続きを後期で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅱを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン [日文・社文・企シ]	1年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語に接する学習者のために、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学ぶところからスタートする。また、日常的な会話表現を身につけると同時に、韓国社会や生活文化などにも触れ合うことで、韓国人や韓国社会への理解を深めていくことを目指す。	グローバル社会における外国語の重要度がますます高まるなか、隣国の人・ことば・社会に興味を持つこと、それは皆さんにとって大きなパワーにつながるはず。韓国語学習を通して語学の楽しさの発見はもちろん、より広がる自分の視野を感じてみましょう！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。</li> <li>・簡単な自己紹介ができる。</li> <li>・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。</li> <li>・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。</li> <li>・丁寧な表現を使って話すことができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	教室用語の練習
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	あいさつの練習
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングル組み合わせ・単語の復習
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングル組み合わせ・単語の復習
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングル組み合わせ・単語の復習
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングル組み合わせ・単語の復習
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、名詞文の復習
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、名詞文の復習
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、名詞文の復習
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、用言文の理解
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、丁寧表現の復習
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、丁寧表現の復習
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、丁寧表現の復習
	15	作文練習と総復習	全体の復習・まとめ
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  <b>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</b></p> <p>※ 辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日は必ず出席すること。出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・毎回の授業活動には積極的に参加すること。</li> <li>・ペアやグループ活動の場合は、自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。</li> <li>・授業以外での学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。</li> <li>・辞書機能としてスマートフォンを使用することは認めるが、授業に関係ないこと（E-mail, LINE等）での使用は厳禁。</li> <li>・大学生としてのマナーと姿勢を持って授業に臨むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。</li> <li>・授業回数の3分の1以上欠席の場合は、不可とする。</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう。後期に備えて夏休み期間中は、前期で学んだことをもう一度復習しておくことが重要。</li> <li>・学内の「韓国語スピーチコンテスト」や「韓国語合宿」などに積極的に参加しましょう。</li> <li>・韓国旅行はもちろん、協定校で行われる「海外語学・文化セミナー」の参加もお勧めです。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [英米・産情]	1年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。	初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。
到達目標	韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、映画、インターネットを通して紹介します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎・第1課 韓国語について：「ハングル」の成り立ち	簡単な自己紹介の暗記
	2	基礎・第2課 基礎の母音：母音字の書き方と発音	基礎母音字10コの暗記
	3	基礎・第3課 基礎の子音：子音字の書き方と発音	子音と母音で文字作り
	4	基礎・第4課 複合母音：陽母音と院母音の組み合わせ	「ハングル」で名前書き
	5	基礎・第5課 末音（パッチム）の発音	韓国人の名前読み
	6	基礎・第6課 発音の変化：表音文字の特徴	教科書のCDで発音練習
	7	日本語の「ハングル」表記	日本の地名をハングルで表記
	8	第1課：文の構造	本文に合わせて自己紹介
	9	第2課：助詞	パソコンで文字入力
	10	第3課：名詞の否定文	57頁を使って否定文の練習
	11	第4課：存在詞	練習問題
	12	第5課：です/ますの語尾（フォーマル体）	練習問題
	13	第6課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	練習問題
	14	韓国の映画	映画のプリント提出
	15	第7課：です/ますの語尾練習	第1課～第7課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を見て、韓国語で言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価 平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 前期の教科書の続きを後期で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅱを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [経済・環政・社文]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	一番近い国の言葉として簡単な自己紹介や簡単な挨拶が出来るようにする。又、韓国の独特な文字である「ハングル」を学び、正しい発音を学習を通してしっかり出来るように学ぶ。	隣国の韓国の社会を政治、経済ではなく、音楽、文化を通しより身近な国として紹介していきます。文による堅苦しい表現だけではなく、今若者が使う楽しい表現も授業中に取り入れます。

到達目標
①ハングルの母音と子音の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎1～2：韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について	
	2	基礎3：基本子音と二重子音について（ひらがなとハングルの比べ）	練習問題の復習
	3	基礎4：複合母音について（日本語のハングル表記について）	練習問題の復習
	4	基礎5：パッチムについて	練習問題の復習
	5	基礎6：発音の変化（実際の発音）	練習問題の復習
	6	基礎7：基本挨拶及び小テスト	
	7	第1課：「～は」、「～です」について	課題プリントの復習
	8	第2課：「～が」、「～ですか」について	課題プリントの復習
	9	第3課：「～ではありません」について	課題プリントの復習
	10	韓国映画鑑賞と小テスト	
	11	第4課：「あります・います」について	本文の復習
	12	第5課：「します」について	本文の復習
	13	第6課：「あります・います・します」のヨ体について	本文の復習
	14	第7課：動詞、形容詞の丁寧表現「～です、ます」	本文の復習
	15	総合応用「自己紹介」及び前期講座のまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税)  *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。  登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。  毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。  さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。  ②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価  期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  継続して韓国語Ⅱを履修しましょう。  そのためには、夏休みの期間には前期のテキストを復習することが大事です。  又、韓国の音楽や文化に触れる事もお勧めします。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [法律・地行]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	一番近い国の言葉として簡単な自己紹介や簡単な挨拶が出来るようにする。又、韓国の独特な文字である「ハングル」を学び、正しい発音を学習を通してしっかり出来るように学ぶ。	隣国の韓国の社会を政治、経済ではなく、音楽、文化を通しより身近な国として紹介していきます。文による堅苦しい表現だけではなく、今若者が使う楽しい表現も授業中に取り入れます。

到達目標
①ハングルの母音と子音の読み書きができる。
②簡単な自己紹介ができる。
③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。
④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。
⑤丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎1～2：韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について	
	2	基礎3：基本子音と二重子音について（ひらがなとハングルの比べ）	練習問題の復習
	3	基礎4：複合母音について（日本語のハングル表記について）	練習問題の復習
	4	基礎5：パッチムについて	練習問題の復習
	5	基礎6：発音の変化（実際の発音）	練習問題の復習
	6	基礎7：基本挨拶及び小テスト	
	7	第1課：「～は」、「～です」について	課題プリントの復習
	8	第2課：「～が」、「～ですか」について	課題プリントの復習
	9	第3課：「～ではありません」について	課題プリントの復習
	10	韓国映画鑑賞と小テスト	
	11	第4課：「あります・います」について	本文の復習
	12	第5課：「します」について	本文の復習
	13	第6課：「あります・います・します」のヨ体について	本文の復習
	14	第7課：動詞、形容詞の丁寧表現「～です、ます」	本文の復習
	15	総合応用「自己紹介」及び前期講座のまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税)  *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。  登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。  毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。  さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。  ②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価  期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  継続して韓国語Ⅱを履修しましょう。  そのためには、夏休みの期間には前期のテキストを復習することが大事です。  又、韓国の音楽や文化に触れる事もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宋 ミンジョン [全学]	2年	ptt575@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に韓国社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。さらに、前期「韓国語 I」と後期「韓国語 II」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)及びハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語が苦手な学生も大歓迎です。挫折しないで楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。とにかく、ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。</li> <li>・簡単な自己紹介ができる。</li> <li>・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。</li> <li>・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。</li> <li>・丁寧な表現を使って話すことができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	教室用語プリント
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、ハングル練習課題
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、ハングル練習課題
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  <b>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</b>  ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  *履修の心構えとして、以下注意してください。  ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。  ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。  ・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。</p>
	<p>評価  期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。  授業回数<sup>3</sup>分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。  ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。  ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！夏休み期間中は「韓国語Ⅰ」で学んだ語彙・文法を忘れないように復習してください。また時間を作って韓国ドラマや映画を観ることをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真島 知秀 [全学]	1年	ptt808@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語に接する学習者を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に、韓国の社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。	日本人の観点から韓国語を学習する際のツボをおさえた授業を心がけます。カードを使った活動を多く取り入れて、楽しく分かりやすい説明を行います。毎週グループ活動で反復練習することで、自然と語学力が身に付きます。毎週木曜日はパソコン教室でハンゲルのタイピング練習と、パソコンを使った授業や練習問題も解いていきます。この授業を受けたら韓国がもっと好きになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。</li> <li>・簡単な自己紹介ができる。</li> <li>・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。</li> <li>・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。</li> <li>・丁寧な表現を使って話すことができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	教室用語プリント
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、ハングル練習課題
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、ハングル練習課題
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  <b>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 (2,100+税)</b></p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。</li> <li>※毎回簡単な課題が出されます。授業以外での学習時間の確保が求められます。</li> <li>※毎回色々な人とペアやグループになって練習をします。積極的な活動姿勢が求められます。</li> <li>※辞書機能としてスマートフォンを使用することは大歓迎ですが、授業に関係ないこと（E-mail, LINE等）での使用は厳しく規制します。大学生として常識的な判断が求められます。</li> <li>※活動の多いクラスなので友達同士賑やかに交流することは大歓迎です。ただし説明のときはすぐに切り替えて集中するなど、メリハリのある行動が求められます。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。  授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。  ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。  ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！ただし夏休み期間中に何もしないと、これまで学んだ韓国語を忘れてしまうこともあるので、休みの間もなるべくテキストを読み進めて自分で予習復習をしておくことを強くお勧めします。また時間を作って韓国に一度行ってみましょう。授業で聞いたことを自分の目で確かめてくることは大きな刺激になります。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宋 ミンジョン [人福]	1年	ptt575@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に韓国社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。さらに、前期「韓国語 I」と後期「韓国語 II」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)及びハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語が苦手な学生も大歓迎です。挫折しないで楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。とにかく、ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。</li> <li>・簡単な自己紹介ができる。</li> <li>・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。</li> <li>・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。</li> <li>・丁寧な表現を使って話すことができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	教室用語プリント
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、ハングル練習課題
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、ハングル練習課題
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  <b>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</b>  ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  *履修の心構えとして、以下注意してください。  ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。  ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。  ・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。</p>
	<p>評価  期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。  授業回数<sup>3</sup>分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。  ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。  ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！夏休み期間中は「韓国語Ⅰ」で学んだ語彙、文法を忘れないように復習してください。また時間を作って韓国ドラマや映画を観ることをお勧めします。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宋 ミンジョン [全学科]	2年	ptt575@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）合格を目指していきます。</p>	<p>外国語に一度挫折した経験がある学生でも楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。</li> <li>簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。</li> <li>目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。</li> <li>過去表現で簡単な会話をするすることができる。</li> <li>相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	ハングル練習課題
	3	第8課：用言の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	5	漢数詞を用いて友達作り	漢字数詞プリント
	6	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	7	固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ	固有数詞プリント
	8	韓国映画を楽しもう！	ハングル練習課題
	9	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第12課：用言における否定表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第13課：過去表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	14	韓国文化	外来語プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）  ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「韓国語Ⅰ」履修済みであること。</li> <li>・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。</li> <li>・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。</li> <li>・ペア練習やグループ学習にも積極的に参加すること。</li> <li>・授業中は聞き漏らしのないように集中してメモを取り、次週行う単語テストに備えること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。  授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。  ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。  ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます）  ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。  ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宋 ミンジョン [人福]	1年	ptt575@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）合格を目指していきます。</p>	<p>外国語に一度挫折した経験がある学生でも楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。</li> <li>簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。</li> <li>目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。</li> <li>過去表現で簡単な会話をするすることができる。</li> <li>相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	ハングル練習課題
	3	第8課：用言文の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	5	漢数詞を用いて友達作り	漢字数詞プリント
	6	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	7	固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ	固有数詞プリント
	8	韓国映画を楽しもう！	ハングル練習課題
	9	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第12課：用言文における否定表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第13課：過去表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	14	韓国文化	外来語プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）  ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「韓国語Ⅰ」履修済みであること。</li> <li>・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。</li> <li>・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。</li> <li>・ペア練習やグループ学習にも積極的に参加すること。</li> <li>・授業中は聞き漏らしのないように集中してメモを取り、次週行う単語テストに備えること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。  授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。  ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。  ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます）  ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。  ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [全学]	2年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」、「書く」ことを楽しむ形式で進めると同時に、教科書の内容を中心に「話す」ことの幅を広げます。韓国は、日本に最も近い国なので、学習した表現を実際に使えるように心がけます。	メッセージ 韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、ドラマ、映画、インターネットを通して紹介します。また、韓国語の検定試験（初級）取得ができる学習者を目指していきます。
-------	---	---

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文が読めて、簡単な作文ができる。</li> <li>2. 敬語で話し相手に合う話し方ができる。</li> <li>3. 数字を使い、時間、年月日、誕生日を言うことができる。</li> <li>4. ショッピングができる。</li> <li>5. レストランでの注文ができる。</li> </ol>
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第8課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	自己紹介（5文）の暗記
	2	DVD「韓国留学150日」、単語カード読み	DVDのプリント提出
	3	第9課：漢数詞	誕生日の歌
	4	第10課：固有数詞	K-Popの歌詞で語尾練習
	5	助数詞（単位）の表現	104頁、105頁練習
	6	第11課：尊敬語の語尾	練習問題
	7	話し相手に合う丁寧な命令文	練習問題
	8	韓国のドラマ	ドラマのプリント提出
	9	第12課：連結語尾（条件）、否定文	練習問題
	10	DVD「ソウルの名所」、ダ体（パンマル）の表現	DVDのプリント提出
	11	第13課：過去形	過去形のプリントで練習問題
	12	第14課：勧誘形、DVD「韓国の食文化」	練習問題
	13	韓国の映画	映画のプリント提出
	14	第15課：進行形、韓国のお正月	練習問題
	15	総まとめ	第8課～第15課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税）  参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を韓国語に、韓国語を日本語に言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価  平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  後期の教科書の続きを中級で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [法律・地行]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期の文法など会話に応用し「丁寧体」「尊敬体」をできるようにします。又、数字を使って買い物などの表現、時間の読み方、日にちなどの表現ができるようにします。さらに、テキストの文法、練習問題も理解し応用ができるようにします。	メッセージ 簡単な会話ができ、韓国学生の最新情報や考え方などをメディア、SNSを通じて紹介します。さらに、韓国語の文化、気候、風習などを本文と関わりがあるところも講義中に取り入れます。
	到達目標 ①数字を使って友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。 ②簡単な表現を使って買い物をすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ④過去表現で簡単な会話ができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧にお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習、後期の内容紹介	
	2	第8課：用語文の表現	練習問題の復習
	3	第9課：漢数詞について	練習問題の復習
	4	日にち、金額の数えについて	課題プリントの復習
	5	第10課：固有数詞について	練習問題の復習
	6	時間、数え方について	課題プリントの復習
	7	映画鑑賞と小テスト	
	8	第11課：敬語について	練習問題の復習
	9	韓国と日本の尊敬表現の比べ	課題プリントの復習
	10	第12課：否定文について	練習問題の復習
	11	第13課：過去形について	練習問題の復習
	12	第14課：勧誘形について	練習問題の復習
	13	第15課：～してくださいについて	課題プリントの復習
	14	現在進行形について	課題プリントの復習
	15	総合応用及びまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税)</p> <p>*辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。</p> <p>②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。 韓国の交換留学及び韓国能力検定試験の受験もお勧めします。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [英米・産情]	1年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」、「書く」ことを楽しむ形式で進めると同時に、教科書の内容を中心に「話す」ことの幅を広げます。韓国は、日本に最も近い国なので、学習した表現を実際に使えるように心がけます。	韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、ドラマ、映画、インターネットを通して紹介します。また、韓国語の検定試験（初級）取得ができる学習者を目指していきます。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文が読めて、簡単な作文ができる。</li> <li>2. 敬語で話し相手に合う話し方ができる。</li> <li>3. 数字を使い、時間、年月日、誕生日を言うことができる。</li> <li>4. ショッピングができる。</li> <li>5. レストランでの注文ができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第8課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	自己紹介（5文）の暗記
	2	DVD「韓国留学150日」、単語カード読み	DVDのプリント提出
	3	第9課：漢数詞	誕生日の歌
	4	第10課：固有数詞	K-Popの歌詞で語尾練習
	5	助数詞（単位）の表現	104頁、105頁練習
	6	第11課：尊敬語の語尾	練習問題
	7	話し相手に合う丁寧な命令文	練習問題
	8	韓国のドラマ	ドラマのプリント提出
	9	第12課：連結語尾（条件）、否定文	練習問題
	10	DVD「ソウルの名所」、ダ体（パンマル）の表現	DVDのプリント提出
	11	第13課：過去形	過去形のプリントで練習問題
	12	第14課：勧誘形、DVD「韓国の食文化」	練習問題
	13	韓国の映画	映画のプリント提出
	14	第15課：進行形、韓国のお正月	練習問題
	15	総まとめ	第8課～第15課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を韓国語に、韓国語を日本語に言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価 平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期の教科書の続きを中級で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [経済・環政・社文]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期の文法など会話に応用し「丁寧体」「尊敬体」をできるようにします。又、数字を使って買い物などの表現、時間の読み方、日にちなどの表現ができるようにします。さらに、テキストの文法、練習問題も理解し応用ができるようにします。	メッセージ 簡単な会話ができ、韓国学生の最新情報や考え方などをメディア、SNSを通じて紹介します。さらに、韓国語の文化、気候、風習などを本文と関わりがあるところも講義中に取り入れます。
	到達目標 ①数字を使って友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。 ②簡単な表現を使って買い物をすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をすることができる。 ④過去表現で簡単な会話ができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習、後期の内容紹介	
	2	第8課：用語文の表現	練習問題の復習
	3	第9課：漢数詞について	練習問題の復習
	4	日にち、金額の数えについて	課題プリントの復習
	5	第10課：固有数詞について	練習問題の復習
	6	時間、数え方について	課題プリントの復習
	7	映画鑑賞と小テスト	
	8	第11課：敬語について	練習問題の復習
	9	韓国と日本の尊敬表現の比べ	課題プリントの復習
	10	第12課：否定文について	練習問題の復習
	11	第13課：過去形について	練習問題の復習
	12	第14課：勧誘形について	練習問題の復習
	13	第15課：～してくださいについて	課題プリントの復習
	14	現在進行形について	課題プリントの復習
	15	総合応用及びまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税)  *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。  登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。  毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。  さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。  ②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価  期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  継続して韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。  韓国の交換留学及び韓国能力検定試験の受験もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン [日文・社文・企シ]	1年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「読んで書く」「聞いて話す」語学技能を自分のものにしていく。また、文化の触れ合い学習を通して、韓国の社会や文化を冲縄と比較できる視野を持つ。「韓国語Ⅰ・Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）合格を目指す。</p>	<p>グローバル社会における外国語の重要度がますます高まるなか、隣国の人・ことば・社会に興味を持つこと、それは皆さんにとって大きなパワーにつながるはずです。韓国語学習を通して語学の楽しさを発見し、より広がる自分の視野を感じましょう！</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。</li> <li>・簡単な表現を使って買い物をするができる。</li> <li>・目上の人に対して敬語で簡単な会話をするができる。</li> <li>・簡単な表現を使って相手を誘うことができる。</li> <li>・簡単な表現を使って丁寧をお願いすることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	自己紹介の復習
	2	前学期の復習	ハングル練習課題
	3	第8課：用言文の活用	本文プリント、用言文活用の復習
	4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	本文プリント、漢数字の復習
	5	漢数詞を用いて友達作り	漢字数詞プリント
	6	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）	本文プリント、固有数詞の復習
	7	固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ	固有数詞プリント
	8	韓国映画を楽しもう！	ハングル練習課題
	9	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較	本文プリント、尊敬表現の復習
	10	第12課：用言文における否定表現の練習	本文プリント、否定文の会話練習
	11	第13課：過去表現の練習	本文プリント、過去形活用の復習
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習	本文プリント、過去形活用の復習
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	14	用言文まとめ、会話練習	外来語プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	全体の復習・まとめ
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</p> <p>※ 辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語 I を履修済みであること。</li> <li>・初日は必ず出席すること。出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。</li> <li>・授業以外での学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。</li> <li>・辞書機能としてスマートフォンを使用することは認めるが、授業に関係ないこと（E-mail, LINE等）での使用は厳禁。</li> <li>・大学生としてのマナーと姿勢を持って授業に臨むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。</li> <li>・授業回数の3分の1以上欠席の場合は、不可とする。</li> </ul>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では毎年4月本学で実施されます）</li> <li>・引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。</li> <li>・協定校で行われる「海外語学・文化セミナー」への参加や、1年間の短期交換留学への挑戦など、韓国語学習を通して得た視野を実体験につなげるような目標を持つことをお勧めします。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真島 知秀 [全学]	1年	ptt808@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）合格を目指していきます。</p>	<p>ペアワークやグループ学習をふんだんに取り入れた授業を行います。毎回復習から入り、学んだことを徹底的に定着させます。毎回の課題もより実践で使える表現を取り上げて、授業で取り扱えない学習項目にも触れます。季節の歌（クリスマスソング、お正月の歌など）や韓国の生活文化が分かる動画も紹介して学力向上に繋がります。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。</li> <li>・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。</li> <li>・目上の人に対して敬語で簡単な会話をすることができる。</li> <li>・過去表現で簡単な会話をすることができる。</li> <li>・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	ハングル練習課題
	3	第8課：用言の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	5	漢数詞を用いて友達作り	漢字数詞プリント
	6	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	7	固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ	固有数詞プリント
	8	韓国映画を楽しもう！	ハングル練習課題
	9	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第12課：用言における否定表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第13課：過去表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	14	韓国文化	外来語プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。</li> <li>※毎回簡単な課題が出されます。授業以外での学習時間の確保が求められます。</li> <li>※毎回色々な人とペアやグループになって練習をします。積極的な活動姿勢が求められます。</li> <li>※辞書機能としてスマートフォンを使用することは大歓迎ですが、授業に関係ないこと（E-mail, LINE等）での使用は厳しく規制します。大学生として常識的な判断が求められます。</li> <li>※活動の多いクラスなので友達同士賑やかに交流することは大歓迎です。ただし説明のときはすぐに切り替えて集中するなど、メリハリのある行動が求められます。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。  授業回数数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。  ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。  ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます）</li> <li>※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。</li> <li>※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。</li> </ul>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅲ	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン、-岸本 孝根 [全学]	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業終了後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では韓国語の中級レベルに進むための段階として、初級レベルで学習した重要ポイントを振り返りつつ新たな文型導入を通して、よりレベルの高い文章表現力や会話運用能力を目指していく。また、文化の触れ合い学習を通して、韓国の社会や文化を客観的にみる力を養っていく。	メッセージ この授業は、ネイティブと日本人のペアティーチングにより、場面に合った文型を用いて表現できる能力の育成を目指します。語学力は日々の積み重ねが上達の鍵となることを忘れず、一緒にがんばりましょう！
	到達目標 ・決まり文句以外の表現を用いたあいさつができる。 ・可能・不可能や希望・許諾など、自分の意思を表す表現ができる。 ・連体形を用いた表現ができる。 ・学習した文型を用いて、適切な会話表現に変えることができる。 ・ある程度まとまりのある文の大意を読み取ることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、ニーズ調査	初級までの振り返り
	2	レベル確認および初級の振り返り	テキストの予習・新語彙を覚える
	3	初級・第16課 可能・不可能の表現「～できる／～できない」	テキストの予習・新語彙を覚える
	4	初級・第17課 願望の意志を表す「～したい」、依頼の表現「～してください」	学んだ文型を用いて作文練習
	5	初級・第18課 許諾「～してもいい」、禁止の表現「～しないでください」	会話文の音読練習
	6	初級・第19課 義務の表現「～しなければならない」、意志を表す「□」	テキストの予習・新語彙を覚える
	7	不規則活用の一部紹介	テキストの予習・新語彙を覚える
	8	韓国映画を楽しもう！ / 字幕付け練習	字幕付けの課題準備
	9	初級・第20課 推量・意志・未来を表す「～と思います／するつもりです」	不規則活用の復習
	10	初級のまとめ / 会話テスト	初級教科書のまとめ
	11	連体形の練習	連体形の復習
	12	中級・第1課 動作の原因および様態「～して／～なので」	テキストの予習・新語彙を覚える
	13	中級・第2課 形容詞・指定詞の連体形、「～するようになる」表現	テキストの予習・新語彙を覚える
	14	中級・第3課 動詞・存在詞の現在と過去の連体形	テキストの予習・新語彙を覚える
	15	総復習	全体の復習、まとめ
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】  木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税）  木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税）</p> <p>※ その他、参考書等については必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・ 毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。</li> <li>・ 授業以外での学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末試験（40%）、小テスト・課題（30%）、平常点（30%）により評価する。</li> <li>・ 授業回数の3分1以上欠席の場合は、不可とする。</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期の「韓国語IV」に進むことで、自分の韓国語力に更に磨きを入れましょう。</li> <li>・ 学内の「韓国語スピーチコンテスト」や「韓国語合宿」などに積極的に参加しましょう。</li> <li>・ 「海外語学・文化セミナー」への参加や、1年間の短期交換留学への挑戦など、韓国語学習を通して得た視野を実体験につなげるような目標を持つことをお勧めします。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語IV	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン、-岸本 孝根 [全学]	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業終了後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の中級学習者としてより高いレベルのコミュニケーション能力を身につけるための文型および語彙選択のスキルアップを目指す。そして、韓国語Ⅰ～Ⅳまでの学習能力を用いて、韓国語能力試験およびハングル能力検定試験の中級合格を目指していく。	この授業は韓国語Ⅲと同様、ネイティブと日本人のペアティーチングにより、場面に合った文型を用いて表現できる能力の育成を目指します。語学力は日々の積み重ねが上達の鍵となることを忘れず、授業への積極的な参加はもちろん、自習学習にも力を入れながら、一緒に頑張っていきましょう！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不規則活用を理解し、会話の中で使いこなせることができる。</li> <li>・自分の経験の有無を相手に伝えたり、理由説明を加えたりすることができる。</li> <li>・映画の一場面を訳したり、より分かりやすいセリフで字幕を付けたりすることができる。</li> <li>・新聞やニュースなど、ある程度まとまった文を理解することができる。</li> <li>・日常でよく使われる慣用句を用いて、相手や場面に合わせて適切にコミュニケーションを図ることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、ニーズ調査、レベル確認	韓国語Ⅲまでの振り返り
	2	不規則活用の復習と会話練習	不規則活用のまとめ
	3	連体形の復習と会話練習	連体形のまとめ
	4	第4課 逆接表現「～だが」、同時進行「～しながら」	テキストの予習・新語彙を覚える
	5	第5課 経験の有無を表す表現①「～してみる」、動詞・存在詞の未来連体形	テキストの予習・新語彙を覚える
	6	第6課 経験の有無を表す表現②「～したことがある(ない)」、「～することにする」	テキストの予習・新語彙を覚える
	7	第7課 理由の表現「～なので」、推量の表現「～ようだ」「～ように思う」	テキストの予習・新語彙を覚える
	8	韓国映画を楽しもう！ / グループ活動：Movie Teleco字幕付け作業	字幕付けの課題準備
	9	第8課 逆接等を表す「～んですが」、意志を表す「～しようと」	学んだ文型を用いて作文練習
	10	第9課 「～し始める」表現、「～するなり」表現	会話文の音読練習
	11	第10課 勧誘表現「～しましょうか」、他の勧誘表現との比較	テキストの予習・新語彙を覚える
	12	第11課 願望を表す表現「～したらいいんだけど」、「～のために」表現	テキストの予習・新語彙を覚える
	13	第12課 「～時」表現の様々な形を練習	テキストの予習・新語彙を覚える
	14	地図、買い物、位置関係などの会話練習	テキストの予習・新語彙を覚える
	15	会話テスト、総復習	全体の復習、まとめ
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税）</p> <p>※ その他、参考書等については必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される可能性あり。</li> <li>・毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。</li> <li>・授業以外での学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験（40%）、小テスト・課題（30%）、平常点（30%）により評価する。</li> <li>・授業回数の3分1以上欠席の場合は、不可とする。</li> </ul>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学を目指すなら、交換留学候補生や留学経験者（交換・私費）を対象とした「外国語研究Ⅰ」に進むことができます。</li> <li>・より韓国に焦点をあてて研究したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。</li> <li>・韓国語能力試験（中級）・ハングル能力検定（中級）合格を目指しましょう。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I	前期	火 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏 [全学(中国語圏へ留学予定または留学後継続して学ぶ学生対象)]	2年	研究室5-501 メール ; kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎(文型・音韻)が既習されているのが前提です。中国語で最も重要な声調の発声、聞き取りを意識しながら会話ができるようになります。	メッセージ 語彙が勝負です。日頃から中国語と日本語の違いを意識して語彙を増やしましょう。毎日3単語を最低目標にしましょう。
	到達目標 自分の思ったことを正確に伝えられるようになるために文型と適切な語彙を習得する。相手の発話を理解するためにも多様な語彙と表現を学習します。中検3～2級を目標にしてください。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	既習事項の確認
	3	自己の弱点の把握と今後の課題設定。	自己分析と目標設定
	4	課題①の提示： 翻訳と音読	辞書の活用と暗記
	5	同上	同上
	6	課題②の提示： 翻訳と音読	同上
	7	同上	同上
	8	中間テスト	
9	対象動画の選択と字幕スーパーの作成方法の紹介	PC操作の理解と実習	
10	実技：翻訳	辞書の活用	
11	同上	同上	
12	実技：翻訳と入力	実技(入力)	
13	発表と修正	プレゼン	
14	同上	同上	
15	発表と修正	同上	
16	評価と総括	自己分析と目標設定	
実践	テキスト・参考文献・資料など 特に指定しませんが、トピックは講義の初日に提示し、皆さんで決定します。同様に字幕スーパー用の映画、歌詞も初日に決定します。辞書は必須です。		
	学びの手立て 機会を作って中国語版の映画やDVDを鑑賞してください。カラオケで中国語の歌詞で歌うのも自信がつく秘訣です。		
	評価 課題①②で各20% 字幕作成20% プレゼン20% 中間テスト20%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 既存のDVD作品の翻訳と字幕作成で自信をつけたはずです。更なる高みを目指して外国語Ⅱの履修を勧めます。また検定試験や通訳試験などにチャレンジしてください。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I	前期	火 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン [全学(韓国語圏へ留学予定または留学後継続して学ぶ学生対象)]	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を経験した人の語学力保持および更なる上達の場合として位置づけられている。同時に、これから留学を目指す人、あるいは韓国語IVまで履修済みでより上級レベルを目指す人にとっては、自分の語学力を極める場とする。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して、グローバル社会で活躍できる人材としての自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	自習課題の設定	
	3	会話①、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 自習
	4	会話②、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 自習
	5	会話③、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 自習
	6	会話④、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 自習
	7	会話⑤、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 自習
8	中間テスト		
9	読解とシャドイング①、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 録音練習	
10	読解とシャドイング②、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 録音練習	
11	読解とシャドイング③、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 録音練習	
12	読解とシャドイング④、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 録音練習	
13	読解とシャドイング⑤、自習課題の取り組みとチェック	新語彙・文型チェック / 録音練習	
14	ペア作業の準備	映像選択	
15	ペア作業による期末テスト	字幕付け作業準備	
16	まとめ		
実践	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・長渡陽一(2009)『韓国語の発音と抑揚トレーニング』アルク ・川越菜穂子(2012)『こだわり韓国語』三修社 ・その他、必要に応じて紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談があるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、留学を目指すものとして、日々の自習に心掛けること。		
	評価 ・授業参加度(30%)、期末試験(30%)、小テスト・課題(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・留学選考に合格した人は必ず「外国語研究Ⅱ」も受講しましょう。 ・より韓国に焦点を当てて考察したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。
-------	--

※ポリシーとの関連性 フランス語やフランスまたはヨーロッパの文化を学ぶことで国際性やコミュニケーション能力の向上を目指します。

[第二外国語／一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I	前期	月 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮里 厚子 [全学科および交換留学候補学生・帰国学生]	2年	miyazato@11.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい フランス語中級クラスを受講した後、さらにフランス語の実践能力を培うため、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを聴き取る・書き取ること、作文、会話に取り組みます。	メッセージ この授業は、交換留学を目指す人、交換留学から帰国した人を対象としたクラスになっています。もちろん、留学を考えていなくても上級フランス語を習得したい人は、このクラスでステップアップを目指しましょう。
	到達目標 フランス語を聴き、読み、書き、話すという実践的な訓練と文法事項の確認を繰り返すことで、実用的なコミュニケーション能力を向上させることを目標とします。また、フランスやヨーロッパの文化や社会事情をより深く理解し、フランス語で情報収集する力を養うことも目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習内容の振り返り
	2	聴き取り・書き取りと会話（1）	練習問題
3	読解と作文（1）	練習問題	
4	聴き取り・書き取りと会話（2）	作文の仕上げ	
5	読解と作文（2）	練習問題	
6	聴き取り・書き取りと会話（3）	作文の仕上げ	
7	読解と作文（3）	練習問題	
8	聴き取り・書き取りと会話（4）	作文の仕上げ	
9	読解と作文（4）	練習問題	
10	聴き取り・書き取りと会話（5）	作文の仕上げ	
11	読解と作文（5）	練習問題	
12	聴き取り・書き取りと会話（6）	作文の仕上げ	
13	読解と作文（6）	練習問題	
14	復習	作文の仕上げ	
15	読解と作文の試験	テストに向けての復習	
16	聴き取り・書き取りと会話の試験		
	テキスト・参考文献・資料など 授業内でプリントを配布します。		
	学びの手立て フランス語I～IVを履修済みであること、または同等の知識があることが履修条件です。フランス語を身に付けてもらうためには毎回休まずに授業に出席することはもちろんですが、授業外での努力も必要ですので、課題の提出や復習などの自主学習が求められます。		
	評価 読解と作文の試験：35% 聴き取り・書き取りと会話の試験：35% 課題提出：30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この授業の履修後には、「外国語研究II」が提供されています。また、沖縄で年2回実施される「仏検（フランス語技能検定試験）」の受験、さらにレンヌ第2大学への交換留学にチャレンジすることが可能です。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ	後期	火5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏 [全学(中国語圏へ留学予定または留学後継続して学ぶ学生対象)]	2年	研究室5-501 メール ; kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ウェブや辞書などあらゆる手段を活用して情報を収集し、日本との違いや共通点を理解できるようにしたい。また、自分の意思を伝えたり相手の発話を理解できるように語学力を磨く。	メッセージ ある程度の中国語力を有するのが前提です。このクラスでは正確な意味の理解、適切な表現を目指します。中国語の歌、映画、小説、漫画・・・どっぷり浸かってください。
	到達目標 中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。	

学びの準備	到達目標 中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。
-------	--

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使用方法和注意事項
	2	習得度テスト	弱点の把握と課題の発見
	3	課題文①の提示：朗読と質疑応答（中国語）	沖縄の紹介文（中国語）を理解
	4	関連項目の検索と資料作成	同上
	5	課題文②の提示：朗読と質疑応答（中国語）	沖縄の紹介文（中国語）を理解
	6	関連項目の検索と資料作成	同上
	7	第一回 まとめテスト	課題文①②の理解度テスト
	8	プレゼン課題の選択	プレゼンテーマの決定（紹介文）
	9	プレゼン資料の作成	プレゼン作成
	10	同上	同上
	11	同上	同上
	12	プレゼンの実施 質疑応答	プレゼン実施
	13	同上	同上
	14	総括 質疑応答	理解と修正
	15	第二回 まとめテスト	プレゼン内容のチェックと理解
16	評価と総括	今後の課題発見	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 特に指定はしませんが辞書は必須です。 トピックおよび翻訳する作品は初日の講義で提示し、決定します。 トピックおよび翻訳対象作品に関する文献など（初日および第2回目の講義時に紹介します）
-------	--

学びの実践	学びの手立て 日頃から中国語の発話機会を積極的に探す。中国語版DVDを鑑賞したりカラオケなどで中国語の歌詞と日本語の歌詞で歌うなど中国語の世界に触れるようにする。
-------	--

学びの実践	評価 授業への取り組み（トピックへの参加・翻訳、ナレーションの作成）をもとにして総合的に判断します。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験や通訳試験に挑戦したり、中国語スピーチコンテストに応募したり、積極的に中国語を使いましょう。
-------	---



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ	後期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン [全学(韓国語圏へ留学予定または留学後継続して学ぶ学生対象)]	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を準備中の人に対する事前学習の場として位置づけられる。また留学済みの人、これから留学を目指す人にとっては、自分の語学力を極める場とする。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して、グローバル社会で活躍できる人材としての自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	自習課題の設定	
	3	連体形のまとめ、自習課題の取り組み	連体形の復習 / 自習
	4	会話①、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック / 自習
	5	不規則用言のまとめ①、自習課題の取り組み	不規則の復習 / 自習
	6	不規則用言のまとめ②、自習課題の取り組み	不規則の復習 / 自習
	7	会話②、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック / 自習
8	中間テスト		
9	使役・受け身のまとめ①、自習課題の取り組み	使役・受け身の復習 / 自習	
10	使役・受け身のまとめ②、自習課題の取り組み	使役・受け身の復習 / 自習	
11	会話③、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック / 自習	
12	作文①、自習課題の取り組み	作文作成	
13	作文②、自習課題の取り組み	作文作成	
14	作文③、自習課題の取り組み	作文作成	
15	期末テスト		
16	まとめ		
	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・必要に応じて随時紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談があるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、留学を目指すものとして、日々の自習に心掛けること。		
	評価 ・授業参加度(30%)、期末試験(30%)、小テスト・課題(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・留学選考に合格した人は、留学済みの人と協同で、留学準備に徹しましょう。 ・より韓国に焦点を当てて考察したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。
-------	---

※ポリシーとの関連性 フランス語やフランスまたはヨーロッパの文化を学ぶことで国際性やコミュニケーション能力の向上を目指します。

[第二外国語／一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ	後期	月 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮里 厚子 [全学科および交換留学候補学生・帰国学生]	2年	miyazato@11.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 外国語研究Iに引き続き、さらにフランス語の実践能力を伸ばすため、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを聴き取る・書き取ること、作文、会話、討論に取り組みます。	メッセージ この授業は、交換留学を目指す人、交換留学から帰国した人を対象としたクラスになっています。もちろん、留学を考えていなくても上級フランス語を習得したい人は、このクラスでステップアップを目指しましょう。
	到達目標 外国語研究Iに引き続き、フランス語を聴き、読み、書き、話すという実践的な訓練と文法事項の確認を繰り返すことで、より高度で実用的なコミュニケーション能力を向上させることを目標とします。また、フランスやヨーロッパの文化や社会事情をより深く理解し、フランス語で情報収集する力を養うことも目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習の振り返り
	2	聴き取り・書き取りと会話（1）	練習問題
	3	読解と作文（1）	練習問題
	4	聴き取り・書き取りと会話（2）	作文の仕上げ
	5	読解と作文（2）	練習問題
	6	聴き取り・書き取りと会話（3）	作文の仕上げ
	7	読解と作文（3）	練習問題
	8	聴き取り・書き取りと会話（4）	作文の仕上げ
9	読解と作文（4）	練習問題	
10	聴き取り・書き取りと会話（5）	作文の仕上げ	
11	読解と作文（5）	練習問題	
12	聴き取り・書き取りと会話（6）	作文の仕上げ	
13	読解と作文（6）	練習問題	
14	復習	作文の仕上げ	
15	読解と作文の試験	テストに向けての復習	
16	聴き取り・書き取りと会話の試験		
	テキスト・参考文献・資料など 授業内でプリントを配布します。		
	学びの手立て 外国語研究Iを履修済みであること、または同等の知識があることが履修条件です。フランス語を身に付けてもらうためには毎回休まずに授業に出席することはもちろんですが、授業外での努力も必要ですので、課題の提出や復習などの自主学習が求められます。		
	評価 読解と作文の試験：35% 聴き取り・書き取りと会話の試験：35% 課題提出：30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この授業で上級フランス語を学習することにより、沖縄で年2回実施される「仏検（フランス語技能検定試験）」の受験、さらにレンヌ第2大学への交換留学にチャレンジすることが可能です。また、交換留学後はフランスへの進学、フランス語を生かしての就職などの可能性も広がります。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	2年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語は、世界で4億人の人が話されていると言われます。このスペイン語の基礎を、アルファベットの発音からはじめ、現在形動詞活用を学びながら、簡単な会話ができるようになります。又、音楽やDVDを見ながら、スペイン語圏の文化にも触れます。</p>	<p>半年かけて、スペイン語の規則活用動詞の現在形の活用を学びます。口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対照を通して、スペイン語の文法的特徴に慣れていきましょう。また、DVDなども使用して、スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も取り上げます。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の簡単な文を作ることができるようになります。                  (2) スペイン語の文法的特徴に慣れるようになります。                  (3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の紹介(1) 言語の特徴	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の紹介(2) スペイン語圏の国々の文化紹介	授業の復習
	3	アルファベット	同上
	4	発音練習	同上
	5	アクセントの位置	同上
	6	挨拶練習	練習問題の宿題
	7	名詞の性と数	練習問題の復習
	8	冠詞(定冠詞/不定冠詞)	同上
	9	形容詞の性と数	同上
	10	疑問文・会話練習	同上
	11	人称代名詞	同上
	12	ser 動詞の活用(1) 応用	練習問題の宿題
	13	ser 動詞の活用(2) 実践	練習問題の復習
	14	tener 動詞の活用(1) 応用	練習問題の復習
	15	tener 動詞の活用(2) 実践	総復習
	16	1課～4課の復習・会話練習	テスト勉強
	17	小テスト・数字(20まで)	テストの見直し
	18	estar 動詞の活用(1) 応用	練習問題の宿題
	19	estar 動詞の活用(2) 実践	練習問題の復習
	20	ser / estar 動詞の用法・実践	同上
	21	直説法現在形 -ar 動詞の活用・実践	同上
	22	直説法現在形 -er 動詞の活用・実践	同上
	23	直説法現在形 -ir 動詞の活用・実践	テストの勉強
	24	直説法現在形動詞の総復習・クイズ	テストの見直し
	25	数字(21～60まで)・時間の表現	練習問題の復習
	26	直説法不規則動詞 ir(行く)の用法・実践	同上
	27	直説法不規則動詞 hacer の用法・実践	同上
	28	直説法不規則動詞 querer の用法・実践	同上
	29	直説法不規則動詞の復習・数字(61～100まで)	同上
30	スペイン語 I の総復習	テストの勉強	
31	期末テスト・まとめ	テストの見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書は未定。 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 必ず復習してから授業に出席する。 積極的に質問をし、授業中に解決すること。 言葉を学ぶためには失敗は欠かせません。 言語は失敗あつての上達。ミスを気にしないで一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価 テスト3回 X 30点 = 90点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 10点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 スペイン語 I を受講した学生はスペイン語 II を取る際には同じ講師を選択してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 恭子 [英米]	1年	ptt640@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では、文部科学省認定スペイン語技能検定6級の出題範囲である基礎文法の習得を目指します。さらにCDやDVDで、スペイン語の背景にある文化、社会、歴史、芸術に触れていきます。CALL教室では、ムービーテレコ、ムービーメーカー、webカメラ、普通教室ではスマートフォンを使用して、スペイン語でコミュニケーションをとれるようになるためのトレーニングを行います。</p>	<p>日本人にとってスペイン語学習の最大のメリットは、スペイン語の母音が日本語と同じa・e・i・o・uの5つであることです。巻き舌音や綴りの規則を少し覚えれば、あとはローマ字読みでスペイン語の美しい響きを味わうことができます。このような特徴を持つスペイン語に、チャレンジしましょう！ ¡Vamos!</p>
到達目標	<p>① 正しいアクセントと発音で読むことができる。                  ② Ser動詞を使用して、自己紹介ができる。                  ③ Estar動詞を使用して、体調、場所の説明をすることができる。                  ④ 現在形規則動詞-ar動詞、-er動詞、-ir動詞を使用して、簡単な文を書くことができる。                  ⑤ 現在形規則動詞-ar動詞、-er動詞、-ir動詞を使用して、簡単な会話ができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の概要、アルファベット	自分のスペイン語ネームを決める。
	2	スペイン語の発音、自己紹介の練習、スペイン語圏の紹介	好きなスペイン語圏の国を決める。
	3	アクセントの位置、曲の紹介	上記で選んだ国について調べる。
	4	発音とアクセントのまとめ	上記の国の紹介文を書く。
	5	スペイン語圏についてグループ発表、レッスン1のまとめ、本文の会話練習	小テストの勉強をする。
	6	小テスト（発音とアクセント）、名詞の性と数	eラーニング：レベル1チェック
	7	不定冠詞、数字	eラーニング：レベル1チャレンジ
	8	定冠詞、レストランでの会話	eラーニング：レベル2チェック
	9	レッスン2のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル2チャレンジ
	10	主格人称代名詞、自己紹介（ser動詞）	ser動詞の活用を覚える
	11	口頭テスト（ser動詞の活用）	日本の有名人の紹介文を書く。
	12	日本の有名人に関してスペイン語ゲーム、ser動詞の活用練習	ser動詞の活用練習をする。
	13	レッスン3のまとめ、本文の会話練習	小テストの勉強をする。
	14	小テスト（ser動詞）、会話文作成	eラーニング：レベル3チェック
	15	会話文の発表	eラーニング：レベル3チャレンジ
	16	estar動詞の活用練習、場所の尋ね方	estar動詞の活用を覚える。
	17	口頭テスト（estar動詞の活用）、道の聞き方	お気に入りの場所の説明文を書く。
	18	お気に入りの場所に関してペア会話、estar動詞の活用練習	estar動詞の活用練習をする。
	19	体調の説明、serとestarの使い分け	eラーニング：レベル4チェック
	20	レッスン4のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル4チェック
	21	小テスト（estar動詞）、会話文作成	eラーニング：レベル4チャレンジ
	22	-ar動詞現在形の活用練習	-ar動詞の活用を覚える。
	23	口頭テスト（-ar動詞の活用）、-ar動詞の会話文作成	-ar動詞の活用を覚える。
	24	-er動詞現在形の活用練習	-er動詞の活用を覚える。
	25	口頭テスト（-er動詞の活用）、-er動詞の会話文作成	-er動詞の活用を覚える。
	26	-ir動詞現在形の活用練習	-ir動詞の活用を覚える。
	27	口頭テスト（-ir動詞の活用）、-ir動詞の会話文作成	-ir動詞の活用を覚える。
	28	-ar、-er、-ir動詞の活用練習	-ar、-er、-ir動詞の練習
	29	レッスン5のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル5チェック
30	会話文作成	eラーニング：レベル5チャレンジ	
31	-ar、-er、-ir動詞のテスト（期末）		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『ディエゴと日本再発見!』朝日出版社 2013年 2,415円</p> <p>【参考文献】 坂東省次著『文化と歴史で学ぶスペイン語』780円/立岩礼子・伊藤ゆかり著『スペイン語技能検定4級・5級・6級対策問題集』1500円/立岩礼子・伊藤ゆかり・福地恭子著『スペイン語技能検定6級直前対策問題』2000円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>授業中の居眠り・私語は減点します 指定学科と年次を守って下さい。 事後の学習に役立つeラーニング教材を用意しました。スマホやタブレットPCからの学習も可能です。授業外も、積極的にスペイン語学習に取り組んで下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト・口頭テスト 40% 期末テスト 30% 授業外学習 20% 平常点 10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Iの受講後は、スペイン語IIを履修して下さい。 スペイン語力のアップ、交換留学を目指している学生は、秋季（10月）のスペイン語技能検定6級を積極的に受験して下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [経済・地環・企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受けします。	

学びの準備	ねらい 初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。テキストをもとに、スペイン語の基礎文法を学び、発音、語彙、文法及び簡単な会話を出来ることを目的とする。	メッセージ ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo
	到達目標 初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。テキストをもとに、スペイン語の基礎文法を学び、発音、語彙、文法及び簡単な会話をできるようにする。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	ガイダンス・スペイン語の世界及びスペイン語圏の国々の紹介
	2	スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)
	3	名詞の性と数、定冠詞(定冠詞、不定冠詞)、数字0～10
	4	主語人称代名詞、SER動詞の直接法現在形の活用
	5	ESTAR動詞とHAY動詞の直接法現在形の活用、場所を尋ねる
	6	形容詞、SER動詞とESTAR動詞の比較
	7	-ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞
	8	-erと-ir動詞の直説法現在形の活用、疑問詞
	9	時刻と日付を表す(数字：11～、曜日、月)、感嘆文
	10	日常生活について話す(動詞の直説法現在形の復習)、天気表現
	11	所有形容詞、家族の紹介、縮小辞
	12	値段の聞き方、買い物とレストランでの会話
	13	間接目的格人称代名詞、GUSTAR型の動詞の活用、比較
	14	口頭テストのための作文を書く、スペインの夏祭りの紹介
	15	復習、期末テスト・回答
16		
	時間外学習の内容	
	シラバス、テキストP2-3を読む	
	テキストP4-6をCDと音読する	
	テキストP10-13を事前に読む	
	テキストP14-17を事前に読む	
	テキストP18-21を事前に読む	
	同上	
	テキストP22-25を事前に読む	
	同上	
	テキストP26と77を事前に読む	
	テキストP22と26の復習	
	テキストP69と79を事前に読む	
	テキストP77の復習	
	テキストP30-33を事前に読む	
	課題の作成	
	テスト勉強	

実践	テキスト・参考文献・資料など 『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア (朝日出版社) 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可
----	---

学びの手立て	① テキスト、ノート、筆記用具などを必ず持参すること。 ② 動詞の活用をよく予習・練習すること。 ③ 頻繁に小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 ④ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑤ 授業中は、マナーを守ること(授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など) ⑥ 携帯電話又スマートフォンは電源を切り、かばんの中にする。やむを得ない場合私(又吉)が授業終了まで預かる。成績の減点をする。
--------	---

評価	最終評価は次の点の合計点とする： 1) 出席(10%) 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は欠席扱いとする。 2) テスト(60%) 小テスト、中間及び期末テストを行う(筆記、口頭テスト) 3) 宿題及び課題の提出(20%) 4) 授業参加、態度(10%)
----	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 1. 関連科目 後期にスペイン語II、2年生の前期にスペイン語III 2. 次のステージスペイン語技能検定6級に挑戦する。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [日文・社文]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語を話す国々は21ヶ国、そして、スペイン語を話す人口は4億7千万人です。この講義では、スペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介などが出来るようになることを目的とします。また、スペイン語は広い領域で話されているため世界の視野が広がります。教科書とDVDを使用して、スペインとラテンアメリカの社会や文化に関する話題も豊富に取り上げます！</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解するようになる。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて話が出る。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力って何？この授業を通して外国語がどれぐらい話せたら“話せる”という事について議論出来ます。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況	スペイン語圏について調べる
	2	スペイン語の特徴： アルファベット・母音・子音とその発音	CDを聞いて発音の特徴になれる
	3	注意に必要な綴りと発音・アクセント・疑問文と否定文	習った単語を発音してみる
	4	名詞の性と数・冠詞 (amigo, amiga, amigos, amigas)	スペイン語の単語を調べてみる
	5	Hayの用法： 不特定な人や物が存在しているかどうかを表す	文章を書いてみる
	6	主語人称代名詞。動詞serの直説法現在（出身地、主語の特徴、職業を言う）	自己紹介、他人の紹介する
	7	冠詞と形容詞のはたらき（名詞との関連性）	名詞に冠詞と形容詞を付けてみる
	8	動詞estarの直説法現在：主語の居場所を表す、主語の一時的な状態	文章を書いてみる（中間試験）
	9	不定語と否定語：alguno (something), ninguno (nothing)	文章を書いてみる
	10	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ar、-erと-ir動詞	動詞の活用の復習・練習します
	11	前置詞 (a, con, de, en)、所有形容詞 (mi, tu)	前置詞、所有形容詞を活かす
	12	時間の表し方：Que hora es? 数字をさらに学ぶ	数字の復習、時間を書いてみる
	13	感嘆文、天候表現、目的格人称代名詞	文章を書いてみる
	14	Gustar型動詞、比較級、最上級、不定詞を用いた命令	好きな物、場所などについて書く
15	スペイン語Iの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON!)</p> <p>参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は『西和辞典』（小学館）』</p>
-------	---

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない</p> <p>② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>
-------	--

学びの実践	<p>評価</p> <p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIが履修できます。スペイン語Iの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。本校ではスペイン語技能検定試験講座あるため学生が資格の取れる環境に恵まれています。試験は1年に2回です。さらに、本校はスペインのレオン大学と国外協定校になっているため交換留学・派遣留学（1年）が可能です。希望者は休学することなく、海外の協定校で1年間学べることはこの科目の特徴の一つです。</p>
-------	---



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナド [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語を話す国々は21ヶ国、そして、スペイン語を話す人口は4億7千万人です。この講義では、スペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介などが出来るようになることを目的とします。また、スペイン語は広い領域で話されているため世界の視野が広がります。教科書とDVDを使用して、スペインとラテンアメリカの社会や文化に関する話題も豊富に取り上げます！</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解するようになる。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて話が出来ると。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力って何？この授業を通して外国語がどれぐらい話せたら“話せる”という事について議論出来ます。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況	スペイン語圏について調べる
	2	スペイン語の特徴： アルファベット・母音・子音とその発音	CDを聞いて発音の特徴になれる
	3	注意に必要な綴りと発音・アクセント・疑問文と否定文	習った単語を発音してみる
	4	名詞の性と数・冠詞 (amigo, amiga, amigos, amigas)	スペイン語の単語を調べてみる
	5	Hayの用法： 不特定な人や物が存在しているかどうかを表す	文章を書いてみる
	6	主語人称代名詞。動詞serの直説法現在（出身地、主語の特徴、職業を言う）	自己紹介、他人の紹介する
	7	冠詞と形容詞のはたらき（名詞との関連性）	名詞に冠詞と形容詞を付けてみる
	8	動詞estarの直説法現在：主語の居場所を表す、主語の一時的な状態	文章を書いてみる（中間試験）
	9	不定語と否定語：alguno (something), ninguno (nothing)	文章を書いてみる
	10	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ar、-erと-ir動詞	動詞の活用の復習・練習します
	11	前置詞 (a, con, de, en)、所有形容詞 (mi, tu)	前置詞、所有形容詞を活かす
	12	時間の表し方：Que hora es? 数字をさらに学ぶ	数字の復習、時間を書いてみる
	13	感嘆文、天候表現、目的格人称代名詞	文章を書いてみる
	14	Gustar型動詞、比較級、最上級、不定詞を用いた命令	好きな物、場所などについて書く
15	スペイン語Iの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など
	<p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON!) 参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は『西和辞典』（小学館）』</p>

学びの実践	学びの手立て
	<p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない ② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>

学びの実践	評価
	<p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIが履修できます。スペイン語Iの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。本校ではスペイン語技能検定試験講座あるため学生が資格の取れる環境に恵まれています。試験は1年に2回です。さらに、本校はスペインのレオン大学と国外協定校になっているため交換留学・派遣留学（1年）が可能です。希望者は休学することなく、海外の協定校で1年間学べることはこの科目の特徴の一つです。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-福地（赤嶺）恭子 [法律・地行・人福]	1年	ptt640@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では、文部科学省認定スペイン語技能検定6級の出題範囲である基礎文法の習得を目指します。さらにCDやDVDで、スペイン語の背景にある文化、社会、歴史、芸術に触れていきます。CALL教室では、ムービーテレコ、ムービーメーカー、webカメラ、普通教室ではスマートフォンを使用して、スペイン語でコミュニケーションをとれるようになるためのトレーニングを行います。</p>	<p>日本人にとってスペイン語学習の最大のメリットは、スペイン語の母音が日本語と同じa・e・i・o・uの5つであることです。巻き舌音や綴りの規則を少し覚えれば、あとはローマ字読みでスペイン語の美しい響きを味わうことができます。このような特徴を持つスペイン語に、チャレンジしましょう！ ¡Vamos!</p>
到達目標	<p>① 正しいアクセントと発音で読むことができる。                  ② Ser動詞を使用して、自己紹介ができる。                  ③ Estar動詞を使用して、体調、場所の説明をすることができる。                  ④ 現在形規則動詞-ar動詞、-er動詞、-ir動詞を使用して、簡単な文を書くことができる。                  ⑤ 現在形規則動詞-ar動詞、-er動詞、-ir動詞を使用して、簡単な会話ができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の概要、アルファベット	自分のスペイン語ネームを決める。
	2	スペイン語の発音、自己紹介の練習、スペイン語圏の紹介	好きなスペイン語圏の国を決める。
	3	アクセントの位置、曲の紹介	上記で選んだ国について調べる。
	4	発音とアクセントのまとめ	上記の国の紹介文を書く。
	5	スペイン語圏についてグループ発表、レッスン1のまとめ、本文の会話練習	小テストの勉強をする。
	6	小テスト（発音とアクセント）、名詞の性と数	eラーニング：レベル1チェック
	7	不定冠詞、数字	eラーニング：レベル1チャレンジ
	8	定冠詞、レストランでの会話	eラーニング：レベル2チェック
	9	レッスン2のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル2チャレンジ
	10	主格人称代名詞、自己紹介（ser動詞）	ser動詞の活用を覚える
	11	口頭テスト（ser動詞の活用）	日本の有名人の紹介文を書く。
	12	日本の有名人に関してスペイン語ゲーム、ser動詞の活用練習	ser動詞の活用練習をする。
	13	レッスン3のまとめ、本文の会話練習	小テストの勉強をする。
	14	小テスト（ser動詞）、会話文作成	eラーニング：レベル3チェック
	15	会話文の発表	eラーニング：レベル3チャレンジ
	16	estar動詞の活用練習、場所の尋ね方	estar動詞の活用を覚える。
	17	口頭テスト（estar動詞の活用）、道の聞き方	お気に入りの場所の説明文を書く。
	18	お気に入りの場所に関してペア会話、estar動詞の活用練習	estar動詞の活用練習をする。
	19	体調の説明、serとestarの使い分け	eラーニング：レベル4チェック
	20	レッスン4のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル4チェック
	21	小テスト（estar動詞）、会話文作成	eラーニング：レベル4チャレンジ
	22	-ar動詞現在形の活用練習	-ar動詞の活用を覚える。
	23	口頭テスト（-ar動詞の活用）、-ar動詞の会話文作成	-ar動詞の活用を覚える。
	24	-er動詞現在形の活用練習	-ar動詞の活用を覚える。
	25	口頭テスト（-er動詞の活用）、-er動詞の会話文作成	-ar動詞の活用を覚える。
	26	-ir動詞現在形の活用練習	-ar動詞の活用を覚える。
	27	口頭テスト（-ir動詞の活用）、-ir動詞の会話文作成	-ar動詞の活用を覚える。
	28	-ar、-er、-ir動詞の活用練習	-ar、-er、-ir動詞の練習
	29	レッスン5のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル5チェック
30	会話文作成	eラーニング：レベル5チャレンジ	
31	-ar、-er、-ir動詞のテスト（期末）		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『ディエゴと日本再発見!』朝日出版社 2013年 2,415円</p> <p>【参考文献】 坂東省次著『文化と歴史で学ぶスペイン語』780円/立岩礼子・伊藤ゆかり著『スペイン語技能検定4級・5級・6級対策問題集』1500円/立岩礼子・伊藤ゆかり・福地恭子著『スペイン語技能検定6級直前対策問題』2000円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>授業中の居眠り・私語は減点します  指定学科と年次を守って下さい。  事後の学習に役立つeラーニング教材を用意しました。スマホやタブレットPCからの学習も可能です。授業外も、積極的にスペイン語学習に取り組んで下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト・口頭テスト 40%  期末テスト 30%  授業外学習 20%  平常点 10%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Iの受講後は、スペイン語IIを履修して下さい。  スペイン語力のアップ、交換留学を目指している学生は、秋季（10月）のスペイン語技能検定6級を積極的に受験して下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [日文・英米・社文・人福]	2年	授業終了後に教室で受けします。	

学びの準備	ねらい 初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。テキストをもとに、スペイン語の基礎文法を学び、発音、語彙、文法及び簡単な会話を出来ることを目的とする。	メッセージ ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望めます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo
	到達目標 初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。テキストをもとに、スペイン語の基礎文法を学び、発音、語彙、文法及び簡単な会話をできるようにする。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・スペイン語の世界及びスペイン語圏の国々の紹介	シラバス、テキストP2-3を読む
	2	スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)	テキストP4-6をCDと音読する
	3	名詞の性と数、定冠詞(定冠詞、不定冠詞)、数字0~10	テキストP10-13を事前に読む
	4	主語人称代名詞、SER動詞の直接法現在形の活用	テキストP14-17を事前に読む
	5	ESTAR動詞とHAY動詞の直接法現在形の活用、場所を尋ねる	テキストP18-21を事前に読む
	6	形容詞、SER動詞とESTAR動詞の比較	同上
	7	-ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞	テキストP22-25を事前に読む
	8	-erと-ir動詞の直説法現在形の活用、疑問詞	同上
9	時刻と日付を表す(数字:11~、曜日、月)、感嘆文	テキストP26と77を事前に読む	
10	日常生活について話す(動詞の直説法現在形の復習)、天気表現	テキストP22と26の復習	
11	所有形容詞、家族の紹介、縮小辞	テキストP69と79を事前に読む	
12	値段の聞き方、買い物とレストランでの会話	テキストP77の復習	
13	間接目的格人称代名詞、GUSTAR型の動詞の活用、比較	テキストP30-33を事前に読む	
14	口頭テストのための作文を書く、スペインの夏祭りの紹介	課題の作成	
15	復習、期末テスト・回答	テスト勉強	
16			
実践	テキスト・参考文献・資料など 『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者:尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア(朝日出版社) 定価:2,300円 + 税 『スペイン語ミニ辞典』宮城・宮本編 白水社¥2,800/『西和中辞典』桑名一博、他編 小学科¥5,800/『和西辞典』有本、宮城、他 白水社¥4,500/『現代スペイン語辞典』宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可		
	学びの手立て ① テキスト、ノート、筆記用具などを必ず持参すること。 ② 動詞の活用をよく予習・練習すること。 ③ 頻繁に小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 ④ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑤ 授業中は、マナーを守ること(授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など) ⑥ 携帯電話又スマートフォンは電源を切り、かばんの中にしまうこと。やむを得ない場合私(又吉)が授業終了まで預かる。成績の減点をする。		
	評価 最終評価は次の点の合計点とする: 1) 出席(10%) 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は欠席扱いとする。 2) テスト(60%) 小テスト、中間及び期末テストを行う(筆記、口頭テスト) 3) 宿題及び課題の提出(20%) 4) 授業参加、態度(10%)		

学びの継続	次のステージ・関連科目 1. 関連科目 後期にスペイン語II、2年生の前期にスペイン語III。 2. 次のステージスペイン語技能検定6級に挑戦する。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月5・金5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	2年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>1. スペイン語の規則動詞の現在形の活用を出来るようになり、簡単な文を作ることができる。</p> <p>2. 口頭での簡単な受け答えをできるようにする。</p> <p>3. ビデオ教材なども使用して、スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も身に着けるようになる。</p>	<p>スペイン語入門Ⅰの続きです。今回は点過去形、線過去形、未来形の動詞活用を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の購読が可能になるまでの語学力の習得を目的にする。また、スペイン語入門Ⅰと同様、音楽、視聴覚教材などを利用し、文法及びスペインと中南米の社会・文化事情・生活習慣の紹介をしていきます。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の過去形、未来形の活用ができるようになります。</p> <p>(2) 口頭での受け答えに慣れ、簡単なコミュニケーションができるようになる。</p> <p>(3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解ができるようになる。</p> <p>(4) スペイン語検定試験の6級合格をめざす。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語Ⅰの復習 (1) テストと解説	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅰの復習 (2) 補足説明	授業のおさらい
	3	スペイン語検定試験6級対策 (1) アクセントの位置～現在形規則動詞活用	練習問題の復習
	4	スペイン語検定試験6級対策 (2) 不規則動詞 ser / estar 動詞の応用	同上
	5	天気・天候・季節	練習問題の復習
	6	疑問詞の使い方・会話練習	同上
	7	直説法点過去形規則動詞-ar 動詞活用・応用	同上
	8	直説法点過去形規則動詞-er 動詞活用・応用	同上
	9	直説法点過去形規則動詞-ir 動詞活用・応用	同上
	10	直説法点過去形不規則動詞 ser 動詞とir動詞活用・応用	同上
	11	直説法点過去不規則動詞 venir 動詞活用・応用	同上
	12	直接動詞点過去形規則動詞・不規則動詞の復習	同上
	13	曜日・月・会話練習	同上
	14	所有形容詞・応用	テスト勉強
	15	直説法点過去形～所有形容詞 復習・小テスト	テストの見直し
	16	指示形容詞・文化習慣の紹介	練習問題の復習
	17	指示代名詞・応用	同上
	18	直説法線過去形-ar 動詞活用・応用	同上
	19	直説法線過去形-er 動詞、-ir 動詞活用・応用	同上
	20	未来形規則動詞活用・応用	同上
	21	未来形不規則動詞活用・応用	同上
	22	再帰動詞現在形活用・応用	テスト勉強
	23	指示形容詞～再帰動詞現在形活用 復習・クイズ	テストの見直し
	24	現在進行形-ar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	25	現在進行形-er 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	26	現在進行形不規則動詞活用・応用	練習問題の復習
	27	gustar 動詞現在形活用・応用	同上
	28	encantar 動詞、interesar 動詞活用・応用	同上
	29	好みや趣味を使って会話練習	同上
30	スペイン語Ⅱの総復習	テストの勉強	
31	期末試験・まとめ	テストの見直し	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書は未定。 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
	<p>学びの手立て 必ず復習してから授業に出席する。 授業中に携帯電話、スマートフォンなどの通信機器類の使用は禁止！ 質問や相談など授業時間に回答します。 積極的な授業への参加が望まれます。 言語を学ぶには失敗はつきものです。ミスを恐れずに一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価 テスト3回 X 30点 = 90点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 10点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 スペイン語Ⅱを受講した学生は、スペイン語Ⅲの受講を勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 恭子 [英米]	1年	ptt640@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Iで学んだ文法事項を反復練習しながら新しい事項を学んでいきます。週1回、CALL教室を使用する予定です。CALL教室では、アフレコ、ビデオレター、動画作成といった様々なアクティビティを行います。普通教室では、スマートフォンを用いて会話練習を行い、スペイン語力の向上を目指します。</p>	<p>スペイン語の話者人口は約4億5千万人で、中国語に次いで第2位です。20カ国以上の国や地域で公用語として使用されているため、ビジネスにおいても需要の高い言語です。スペイン語IとIIで習得した表現を用い、旅行や留学先などで簡単なコミュニケーションが行える力をつけていきましょう！</p>
到達目標	<p>① gustar (～が好き) を使って会話ができる。 ② querer (～がほしい・～したい) を使って会話ができる。                  ③ poder (～できる・～してよい) を使って会話ができる。 ④ tener (～を持つ等) を使って会話ができる。                  ⑤ ir (～に行く・～するつもりだ) を使って会話ができる。 ⑥ 再帰動詞の活用ができる。                  ⑦ 現在進行形の活用ができる。 ⑧ 現在完了形の活用ができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語Iの復習	eラーニング：レベル1～5
	2	スペイン語Iの復習	eラーニング：レベル1～5
	3	数字(1～60)、時刻の表し方	eラーニング：レベル1～5
	4	天候表現、感嘆文	eラーニング：レベル1～5
	5	数字1～100,000、値段の尋ね方	eラーニング：レベル6チェック
	6	レッスン6のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル6チェック
	7	出身地クイズ、出身地の紹介文の作文	紹介文の写真を探す。
	8	出身地の紹介の動画作成(パワーポイント)	eラーニング：レベル6チャレンジ
	9	gustar (～が好き)、gustarを使ったペア会話	gustar動詞の使い方を覚える
	10	gustar型動詞dolerなど、dolerを使ったペア会話	eラーニング：レベル7チェック
	11	レッスン7のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル7チャレンジ
	12	quererの活用、quererを使ったペア会話	quererの活用を覚える。
	13	口頭テスト(querer)、querer・gustarを使った会話文作成	quererの活用を覚える。
	14	poderの活用、poderを使ったペア会話	poderの活用を覚える。
	15	口頭テスト(poder)、poder・quererを使った会話文作成	poderの活用を覚える。
	16	tenerの活用、tenerを使ったペア会話	tenerの活用を覚える。
	17	口頭テスト(tener)、tener・poder・quererを使った会話文作成	tenerの活用を覚える。
	18	レッスン8のまとめ	eラーニング：レベル8チェック
	19	レッスン8の会話練習	eラーニング：レベル8チャレンジ
	20	irの活用、irを作ったペア会話	irの活用を覚える。
	21	口頭テスト(ir)、ir・tener・poder・quererを使った会話文作成	irの活用を覚える。
	22	conocer・saberの使い分け、レッスン9のまとめ	eラーニング：レベル9チェック
	23	レッスン9の会話練習	eラーニング：レベル9チャレンジ
	24	再帰動詞の活用	再帰動詞の活用を覚える。
	25	口頭テスト(再帰動詞)、レッスン10のまとめ	eラーニング：レベル10チェック
	26	レッスン10の会話練習	レベル10チャレンジ
	27	現在分詞、現在進行形、現在進行形を使ったペア会話	eラーニング：レベル11チェック
	28	過去分詞、現在完了形、現在完了形を使ったペア会話	eラーニング：レベル11チェック
	29	レッスン11のまとめ	レベル11チャレンジ
30	レッスン11の会話練習	期末テスト勉強	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『ディエゴと日本再発見!』朝日出版社 2013年 2,415円</p> <p>【参考文献】 高橋覚二著『テーブル式基礎スペイン語便覧』2300円/立岩礼子・伊藤ゆかり著『スペイン語技能検定4級・5級・6級対策問題集』1500円/立岩礼子・伊藤ゆかり・安田圭史著『スペイン語技能検定5級直前対策問題』2000円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>スペイン語Iを履修済みであることが望ましい。 授業中の居眠り・私語は減点します。 指定学科と年次を守って下さい。 ペア学習・グループ学習を行います。ペアやグループの迷惑にならないよう、欠席や遅刻には気を付けましょう。</p> <p>事後の学習に役立つeラーニング教材を用意しました。スマホやタブレットPCからの学習も可能です。授業外も、積極的にスペイン語学習に取り組んで下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>口頭テスト 20% 期末テスト 20% 授業外学習 25% 課題 25% 平常点 10%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義内容は文部科学省認定スペイン語技能検定5級の出題範囲です。検定試験は春と秋に実施されますので、履修後は積極的に受験して下さい。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-福地（赤嶺）恭子 [法律・地行・人福]	1年	ptt640@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Iで学んだ文法事項を反復練習しながら新しい事項を学んでいきます。週1回、CALL教室を使用する予定です。CALL教室では、アフレコ、ビデオレター、動画作成といった様々なアクティビティを行います。普通教室では、スマートフォンを用いて会話練習を行い、スペイン語力の向上を目指します。</p>	<p>スペイン語の話者人口は約4億5千万人で、中国語に次いで第2位です。20カ国以上の国や地域で公用語として使用されているため、ビジネスにおいても需要の高い言語です。スペイン語IとIIで習得した表現を用い、旅行や留学先などで簡単なコミュニケーションが行える力をつけていきましょう！</p>
到達目標	<p>① gustar（～が好き）を使って会話ができる。 ② querer（～がほしい・～したい）を使って会話ができる。                  ③ poder（～できる・～してよい）を使って会話ができる。 ④ tener（～を持つ等）を使って会話ができる。                  ⑤ ir（～に行く・～するつもりだ）を使って会話ができる。 ⑥ 再帰動詞の活用ができる。                  ⑦ 現在進行形の活用ができる。 ⑧ 現在完了形の活用ができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語Iの復習	eラーニング：レベル1～5
	2	スペイン語Iの復習	eラーニング：レベル1～5
	3	数字（1～60）、時刻の表し方	eラーニング：レベル1～5
	4	天候表現、感嘆文	eラーニング：レベル1～5
	5	数字1～100,000、値段の尋ね方	eラーニング：レベル6 チェック
	6	レッスン6のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル6 チェック
	7	出身地クイズ、出身地の紹介文の作文	紹介文の写真を探す。
	8	出身地の紹介の動画作成（パワーポイント）	eラーニング：レベル6 チャレンジ
	9	gustar（～が好き）、gustarを使ったペア会話	gustar動詞の使い方を覚える
	10	gustar型動詞dolerなど、dolerを使ったペア会話	eラーニング：レベル7 チェック
	11	レッスン7のまとめ、本文の会話練習	eラーニング：レベル7 チャレンジ
	12	quererの活用、quererを使ったペア会話	quererの活用を覚える。
	13	口頭テスト（querer）、querer・gustarを使った会話文作成	quererの活用を覚える。
	14	poderの活用、poderを使ったペア会話	poderの活用を覚える。
	15	口頭テスト（poder）、poder・quererを使った会話文作成	poderの活用を覚える。
	16	tenerの活用、tenerを使ったペア会話	tenerの活用を覚える。
	17	口頭テスト（tener）、tener・poder・quererを使った会話文作成	tenerの活用を覚える。
	18	レッスン8のまとめ	eラーニング：レベル8 チェック
	19	レッスン8の会話練習	eラーニング：レベル8 チャレンジ
	20	irの活用、irを作ったペア会話	irの活用を覚える。
	21	口頭テスト（ir）、ir・tener・poder・quererを使った会話文作成	irの活用を覚える。
	22	conocer・saberの使い分け、レッスン9のまとめ	eラーニング：レベル9 チェック
	23	レッスン9の会話練習	eラーニング：レベル9 チャレンジ
	24	再帰動詞の活用	再帰動詞の活用を覚える。
	25	口頭テスト（再帰動詞）、レッスン10のまとめ	eラーニング：レベル10 チェック
	26	レッスン10の会話練習	レベル10 チャレンジ
	27	現在分詞、現在進行形、現在進行形を使ったペア会話	eラーニング：レベル11 チェック
	28	過去分詞、現在完了形、現在完了形を使ったペア会話	eラーニング：レベル11 チェック
	29	レッスン11のまとめ	レベル11 チャレンジ
30	レッスン11の会話練習	期末テスト勉強	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『ディエゴと日本再発見!』朝日出版社 2013年 2,415円</p> <p>【参考文献】 高橋覚二著『テーブル式基礎スペイン語便覧』2300円/立岩礼子・伊藤ゆかり著『スペイン語技能検定4級・5級・6級対策問題集』1500円/立岩礼子・伊藤ゆかり・安田圭史著『スペイン語技能検定5級直前対策問題』2000円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>スペイン語Iを履修済みであることが望ましい。  授業中の居眠り・私語は減点します。  指定学科と年次を守って下さい。  ペア学習・グループ学習を行います。ペアやグループの迷惑にならないよう、欠席や遅刻には気を付けましょう。</p> <p>事後の学習に役立つeラーニング教材を用意しました。スマホやタブレットPCからの学習も可能です。授業外も、積極的にスペイン語学習に取り組んで下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>口頭テスト 20%  期末テスト 20%  授業外学習 25%  課題 25%  平常点 10%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義内容は文部科学省認定スペイン語技能検定5級の出題範囲です。検定試験は春と秋に実施されますので、履修後は積極的に受験して下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [日文・英米・社文・人福]	2年	授業終了後に教室で受けします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを基礎にし、不規則動詞の活用を覚える。さらに語彙や表現力をアップし、スペイン語技能検定6級レベルを目指す。</p> <p>到達目標</p> <p>スペイン語で日常生活や好みについて語れるようになる。また、スペイン語圏の国々の行事の場面や習慣で使う文法項目や、表現など覚え、適切に言えるようになる。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期で学んだ文法項目と表現の復習	シラバスをよむ、前期の復習
	2	不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用	テキストP36-39を事前に読む
	3	不規則動詞PODERの直説法現在形の活用	同上
	4	不規則動詞TENERの直説法現在形の活用	同上
	5	不規則動詞IRの直説法現在形の活用	テキストP40-43を事前に読む
	6	SABERとCONCER動詞の現在形の活用と違い	同上
	7	助動詞のまとめと規則と不規則動詞の直説法現在形の活用の復習	プリント、練習問題等で復習
	8	再帰動詞の直説法現在形の活用	テキストP44-47を事前に読む
	9	一日の行為について語る、現在分詞、直説法現在形進行形	テキストP48-51を事前に読む
	10	スペイン語圏の国々クリスマスとお正月行事、習慣の紹介	テキストP91-95を事前に読む
	11	過去分詞、直説法現在形完了形	テキストP48-51を事前に読む
	12	直説法点過去形の活用	テキストP69と79を事前に読む
	13	直説法線過去過去の活用	同上
	14	口頭テストのための作文を書く、スペインの夏祭りの紹介	課題の作成
15	復習、期末テスト・回答	テスト勉強	
16			

実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者: 尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア (朝日出版社) 定価: 2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
----	---

学びの手立て	<p>① テキスト、ノート、筆記用具などを必ず持参すること。</p> <p>② 動詞の活用をよく予習・練習すること。</p> <p>③ 頻繁に小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。</p> <p>④ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。</p> <p>⑤ 授業中は、マナーを守ること (授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など)</p> <p>⑥ 携帯電話又スマートフォンは電源を切り、かばんの中にする。やむを得ない場合私(又吉)が授業終了まで預かる。成績の減点をする。</p>
--------	---

評価	<p>最終評価は次の点の合計点とする:</p> <p>1) 出席(10%) 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は欠席扱いとする。</p> <p>2) テスト(60%) 小テスト、中間及び期末テストを行う(筆記、口頭テスト)</p> <p>3) 宿題及び課題の提出 (20%)</p> <p>4) 授業参加、態度(10%)</p>
----	---

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>1. 関連科目 2年生の前期にスペイン語III、後期にスペイン語IV。</p> <p>2. 次のステージスペイン語技能検定6級に挑戦する。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。さらに、スペイン語の文法構想を理解することでスペイン語の読書又は簡単な文章を日本語に訳す事が可能になります。スペイン語の複雑な文法事項に負けず、スペイン語Ⅰと同様、言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像なども可能な限り鑑賞します。</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>
到達目標	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解する。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて考える。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力を高める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の表現と文法の復習 (Hola!, Que tal? Como estan?)	スペイン語Ⅰの復習をする
2	語根母音変化動詞 I: 欲する (querer)、出来る (poder) 動詞	動詞の活用の復習・練習します	
3	所有を表す表現: tener動詞	文章を書いてみる	
4	未来を表す表現 (ir動詞、未来形の代用)	自分の未来について書いてみる	
5	疑問詞、指示形容詞	疑問文を書いてみる	
6	Saberとconocer動詞、関係代名詞	知っている場所と人について書く	
7	普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する	日常生活について書く	
8	再起動詞I (立つ、起きるなど)	文章を書いてみる (中間試験)	
9	再起動詞II (意味の強調、再起受け身)	文章を書いてみる	
10	現在分詞 (進行形)	進行形の文書を書いてみる	
11	過去分詞 (現在完了)	現在完了の文書を書いてみる	
12	過去の表現。点過去: 『～した』	過去について書いてみる	
13	線過去: 『～していた、～なのだが』	過去の生活について書く	
14	未来形: 『～するだろう、～だろうか』	予定と希望を書いてみる	
15	スペイン語Ⅱの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	
	テキスト・参考文献・資料など	<p>テキスト: 朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名: BIENVENIDOS A JAPON!) 参考文献: 辞書一冊: 電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』(白水社)』 又は『現代スペイン語辞典』(白水社)』 又は 『西和中辞典』(小学館)』</p>	
	学びの手立て	<p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる(質問します)・居眠りはしない(注意されます)・遅刻はしない・欠席しない ② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>	
	評価	<p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>	

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅲが履修できます。スペイン語Ⅱの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。スペイン語に近い言語構造のヨーロッパ言語に興味があれば、これらの言語の勉強はしやすくなります。この講義の終わるころにスペイン語の文法構造がある程度理解しています。さらに、単語が読めて、発音も出来ますので語彙力が増やせばスペイン語の習得は夢ではないと言えます。海外留学を考えても良い時期です。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [日文・社文]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。さらに、スペイン語の文法構想を理解することでスペイン語の読書又は簡単な文章を日本語に訳す事が可能になります。スペイン語の複雑な文法事項に負けず、スペイン語Ⅰと同様、言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像なども可能な限り鑑賞します。</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解する。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて考える。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力を高める。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の表現と文法の復習 (Hola!, Que tal? Como estan?)	スペイン語Ⅰの復習をする
	2	語根母音変化動詞 I: 欲する (querer)、出来る (poder) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	3	所有を表す表現: tener動詞	文章を書いてみる
	4	未来を表す表現 (ir動詞、未来形の代用)	自分の未来について書いてみる
	5	疑問詞、指示形容詞	疑問文を書いてみる
	6	Saberとconocer動詞、関係代名詞	知っている場所と人について書く
	7	普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する	日常生活について書く
	8	再起動詞I (立つ、起きるなど)	文章を書いてみる (中間試験)
	9	再起動詞II (意味の強調、再起受け身)	文章を書いてみる
	10	現在分詞 (進行形)	進行形の文書を書いてみる
	11	過去分詞 (現在完了)	現在完了の文書を書いてみる
	12	過去の表現。点過去: 『～した』	過去について書いてみる
	13	線過去: 『～していた、～なのだが』	過去の生活について書く
	14	未来形: 『～するだろう、～だろうか』	予定と希望を書いてみる
15	スペイン語Ⅱの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト: 朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名: BIENVENIDOS A JAPON!)</p> <p>参考文献: 辞書一冊: 電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』(白水社)』 又は『現代スペイン語辞典』(白水社)』 又は『西和中辞典』(小学館)』</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる (質問します) ・居眠りはしない (注意されます) ・遅刻はしない・欠席しない</p> <p>② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>
-------	--

学びの実践	<p>評価</p> <p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅲが履修できます。スペイン語Ⅱの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。スペイン語に近い言語構造のヨーロッパ言語に興味があれば、これらの言語の勉強はしやすくなります。この講義の終わるころにスペイン語の文法構造がある程度理解しています。さらに、単語が読めて、発音も出来ますので語彙力が増やせばスペイン語の習得は夢ではないと言えます。海外留学を考えても良い時期です。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [経済・地環・企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受けします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを基礎にし、不規則動詞の活用を覚える。さらに語彙や表現力をアップし、スペイン語技能検定6級レベルを目指す。</p> <p>到達目標 スペイン語で日常生活や好みについて語れるようになる。また、スペイン語圏の国々の行事の場面や習慣で使う文法項目や、表現など覚え、適切に言えるようになる。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期で学んだ文法項目と表現の復習	シラバスをよむ、前期の復習
	2	不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用	テキストP36-39を事前に読む
	3	不規則動詞PODERの直説法現在形の活用	同上
	4	不規則動詞TENERの直説法現在形の活用	同上
	5	不規則動詞IRの直説法現在形の活用	テキストP40-43を事前に読む
	6	SABERとCONCER動詞の現在形の活用と違い	同上
	7	助動詞のまとめと規則と不規則動詞の直説法現在形の活用の復習	プリント、練習問題等で復習
	8	再帰動詞の直説法現在形の活用	テキストP44-47を事前に読む
	9	一日の行為について語る、現在分詞、直説法現在形進行形	テキストP48-51を事前に読む
	10	スペイン語圏の国々クリスマスとお正月行事、習慣の紹介	テキストP91-95を事前に読む
	11	過去分詞、直説法現在形完了形	テキストP48-51を事前に読む
	12	直説法点過去形の活用	テキストP69と79を事前に読む
	13	直説法線過去過去の活用	同上
	14	口頭テストのための作文を書く、スペインの夏祭りの紹介	課題の作成
15	復習、期末テスト・回答	テスト勉強	
16			

実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者: 尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア (朝日出版社) 定価: 2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
----	---

学びの手立て	<p>① テキスト、ノート、筆記用具などを必ず持参すること。 ② 動詞の活用をよく予習・練習すること。 ③ 頻繁に小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 ④ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑤ 授業中は、マナーを守ること (授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など) ⑥ 携帯電話又スマートフォンは電源を切り、かばんの中にする。やむを得ない場合私(又吉)が授業終了まで預かる。成績の減点をする。</p>
--------	--

評価	<p>最終評価は次の点の合計点とする:</p> <p>1) 出席(10%) 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は欠席扱いとする。 2) テスト(60%) 小テスト、中間及び期末テストを行う(筆記、口頭テスト) 3) 宿題及び課題の提出 (20%) 4) 授業参加、態度(10%)</p>
----	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>1. 関連科目 2年生の前期にスペイン語III、後期にスペイン語IV。 2. 次のステージ スペイン語技能検定6級に挑戦する。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	2年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>中級レベルのスペイン語文法の力を身に付け、読解の力を付ける。聞く、話す、読む、書くの4分野において、中級レベルでスペイン語コミュニケーション能力の修得を目指します。</p>	<p>スペイン語入門Ⅰ、Ⅱの続きです。今回は主に不規則動詞、助動詞、再起動詞などの現在形の少し複雑な文法項目を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の購読が可能になるまでの語学力の習得を目的にする。また、音楽、視聴覚教材などを利用し、文法及びスペインと中南米の社会・文化事情・生活習慣の紹介をしていきます。</p>
到達目標	<p>1. スペイン語の中級レベルの不規則動詞活用を出来るようになり、簡単な文を作ることができるようになります。                  2. 口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対照を通して、スペイン語の文法的特徴に更に慣れるようになります。                  3. ビデオ教材なども使用して、中南米の言語・文化・価値観を理解する重要性を認識できるようになります。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション ・ 自己紹介の練習	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅰ、Ⅱの復習 (1)	授業の復習
	3	スペイン語Ⅰ、Ⅱの復習 (2)	授業の復習
	4	日常会話基本表現	会話の暗記
	5	直接法現在不規則動詞の練習	授業の復習
	6	ir aの復習、練習	同上
	7	買い物に便利な表現	会話の暗記
	8	tener que の復習、練習	授業の復習
	9	点過去形不規則動詞(1)活用	同上
	10	点過去形不規則動詞(2)実践	会話の暗記
	11	電話での会話	授業の復習
	12	指示詞、形容詞の復習	同上
	13	所有詞の復習	同上
	14	線過去形規則動詞(1)活用	同上
	15	線過去形規則動詞(2)実践	同上
	16	線過去形不規則動詞の練習	同上
	17	総復習	テスト勉強
	18	中間テスト	テストの見直し
	19	gustar動詞のおさらい	練習問題の復習
	20	食事に関する表現	同上
	21	感嘆文および練習問題	同上
	22	好みの一致や違いを表す会話	会話の暗記
	23	再帰動詞と無人称文(1)活用	練習問題の復習
	24	再帰動詞の不規則動詞活用	同上
	25	再帰動詞の直説法点過去、及び受身表現	同上
	26	現在分詞と過去分詞の用法	同上
	27	現在進行形規則動詞の活用	同上
	28	現在進行形不規則動詞の活用	同上
	29	総復習	テスト勉強
30	オラールテスト	テストの見直し	
31	まとめ	検定試験5級にチャレンジ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書は未定。 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 簡単な日常会話がネイティブスピーカーとできることと、検定試56級合格レベルの実力をつけることを目標とする。恥ずかしがらずに積極的にスペイン語を話すように心がけよう。講義の事前に復習を十分行うこと。</p>
学 び の 継 続	<p>評価 筆記テスト、オーラルテスト 70点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 30点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 習った表現をできる限り、日常で使うことを勧めます。 スペイン語Ⅲを合格した学生は、スペイン語Ⅳの修得を勧めます。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	2年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中級レベルのスペイン語文法を復習しながら、読解力を身につける。	メッセージ 後期は、スペイン語を公用語とする中南米の国々を特に紹介します。また、日本だけではなく、沖縄と深いかかわりのある、多くの日系人社が存在するペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチンの食事文化・習慣、音楽なども紹介しながら、授業を進めます。
	到達目標 中級レベルの長文を使って表現活動を行う。過去形を中心に過去に起きた出来事を紹介できることを目指します。また、中南米の言語・文化・価値観を理解する重要性を認識することを目標とします。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅲの復習(1)	練習問題の復習
	3	スペイン語Ⅲの復習(2)	同上
	4	時間に関する表現	同上
	5	予定を示す表現	同上
	6	天候表現のおさらい	同上
	7	旅行に関する表現	会話の暗記
	8	中米カリブ海の国々の文化・紹介	授業のおさらい
	9	直説法未来形規則動詞の活用	練習問題の復習
	10	直説法未来形規則動詞の実践	同上
	11	直説法未来形不規則動詞の活用	同上
	12	直説法過去未来の活用と応用	同上
	13	過去未来形を使った丁寧な表現	同上
	14	南米ボリビアの日系人社会の紹介	授業のおさらい
	15	関係代名詞の応用	練習問題の復習
	16	比較表現、および練習問題	同上
	17	直説法現在完了の活用	同上
	18	直説法現在完了の実践	同上
	19	現在完了を使っての会話練習	同上
	20	依頼する表現を使っての会話	会話の暗記
	21	総復習	テストの勉強
	22	中間テスト	テストの見直し
	23	パラグアイの日系社会の紹介	授業のおさらい
	24	目的格人称代名詞の練習	練習問題の復習
	25	seの用法	同上
	26	ペルーの日系社会や遺産の紹介	授業のおさらい
	27	接続法現在形規則動詞の活用	練習問題の復習
	28	接続法現在形不規則動詞の活用	同上
	29	siを使った条件文	同上
30	総復習	テストの勉強	
31	オーラルテスト	西験4級にチャレンジ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書は未定。 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スペイン語の中級レベルの不規則動詞活用を出来るようになり、簡単な文を作ることができるようになります。</li> <li>2. 口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対照を通して、スペイン語の文法的特徴に更に慣れるようになります。</li> <li>3. ビデオ教材なども使用して、中南米の言語・文化・価値観を理解する重要性を認識できるようになります。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>筆記テスト、オーラルテスト 70点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 30点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>習った表現をできる限り、日常で使うことを勧めます。ネイティブスピーカーとの会話や、留学もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	島袋 直樹 [英米]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この科目では中華人民共和国の標準語である「普通話」を学ぶ。まず中国語の発音表記であるピンインを学び、正確な発音・聞き取りができるようにする。そして基本的な文法事項、単語、会話を学んでゆく。	メッセージ 中国語学習の基礎段階ではいかに正確な発音を身につけるかということが非常に重要であり、その後の学習に大きな影響を及ぼしていくことになるので発音練習は特に時間をかけ何度も繰り返し復習する。このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。
	到達目標 1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、中国語についての概説、中国語の発音について、発音	ガイダンスの確認、授業の復習
	2	発音（単母音の練習、二重母音の練習、三重母音の練習、鼻母音の練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	3	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	4	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について、声調練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	5	発音（ピンインの書き方の決まり、発音の復習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	6	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動詞「是」	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	基本文型④「主述述語文」、動詞「有」、人やモノの数え方	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	前期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな いこと。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止 する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の 三分之一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」 は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する 。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講される「中国語Ⅱ」で続きの内容を学習する。 「中国語Ⅰ」の学習レベルで受験できる検定試験もあるので積極的にチャレンジしてモチベーションを高めてほ しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	車 莉莉 [企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>●中国標準語の個々の発音から学びます。ピンイン(中国語の発音記号)と声調(イントネーション)を正しく読み、聞き取った単語を正確にピンインで表記できることを目指します。</p> <p>●基礎文型の習得を通して、中国語の基礎的な構文を理解し、覚えるようにします。</p>	<p>中国は人口大国で、海外進出によって、日本を訪れる人の数が年々増えます。このような状況の下、今後、あらゆる業界で中国語はさらに必要とされるし、使えたほうが仕事の間口が広がるでしょう。中国語を始めたい学生を歓迎します。分かりやすく教えることを常に心がけていますので、安心して受けてください。</p>
到達目標	<p>中国語の発音記号を自己流ではなく、教えられた通りに発音できます。 イントネーション(声調)の各パタンの高さが弁別できます。 中国語基本文型に基づき、与えられた単語でフレーズを正しく作れます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・中国語と日本語が発音における相違・母音の発音	シラバスをよく読む 副音声教材 1
	2	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 1
	3	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 2
	4	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 3
	5	発音のまとめ&単語、決まり文句の読み書き練習 小テスト	サイト練習問題
	6	第一課 読み書き&難読ピンインについての強化練習	練習問題集&副音声教材 4~12
	7	第一課 [是]述語文、まとめ。第二課の単語を導入	同上
	8	第二課 読み書き&難読ピンインについての強化練習	同上
	9	第二課 動詞述語文、形容詞述語文、まとめ。第三課の単語導入	同上
	10	第三課 所有の表現、読み書き練習、小テスト	同上
	11	第四課 数量詞、副詞などの表現、読み書き練習	同上
	12	第五課 助数詞の表現、読み書き&構文練習	同上
	13	第六課 過去と変化を表す言い方、読み書き&構文練習	同上
	14	第七課 前置詞フレーズ、読み書き練習、小テスト	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>●テキスト        老師好(ラオシーハオ)!—王先生との出会い        守屋 宏則 (著), 陳 浩 (著), 梁 月軍 (著) 郁文堂出版社</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>正確な発音は中国語力の土台になるもので、それを身に付けるために、毎回出席して、慣れない音を繰り返す練習に取り組む必要があります。        難読な音や、苦手なイントネーションについて、説明を受け、模範朗読を聞くだけでなく、声を出して、積極的にトレーニングに参加しましょう。        また、分からないことがあれば、放置するのではなく、聞いたり、調べたりしてください。        習った内容を常にテストを行い、チェックします。その結果をよく確かめ、問題点を常に意識して勉強してください。        授業が始まってからの出入りは許可を得てからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>学期終了時に実施される中国語習得度テスト60%        小テスト(授業中随時に行う)15%、宿題提出10%、授業態度など15%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目として、中国語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [全学科(全学年)]	1年		

学びの準備	ねらい 中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指す。 正しい発音のマスターに重点を置き、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、いろんな場面ですぐ使える簡単な会話能力を身につけることができる。また中国の生活習慣や社会文化も紹介し、異文化への理解を深めることができる。	メッセージ 初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。 このクラスは全学年、全学科の学生が登録可能です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。
	到達目標 ・中国語の表現及び正確な発音をを習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とする。 ・異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、中国語について	シラバスをよく読むこと
	2	中国語の発音① 声調、音節	事前学習単語シート
	3	中国語の発音② 母音	事前学習単語シート
	4	中国語の発音③ 子音①	事前学習単語シート
	5	中国語の発音④ 子音②	事前学習単語シート
	6	お国はどこですか。動詞「是」、いろいろな疑問文	事前学習単語シート
	7	お名前は？姓とフルネームの言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	8	何を食べたい？動詞文、選択疑問文	事前学習単語シート
	9	図書館に行きたい 連動文、助動詞「想」	事前学習単語シート
	10	キャンパスの中に銀行はありますか。動詞「有」と「在」	事前学習単語シート
	11	今日は何曜日？年月日、曜日の言い方	事前学習単語シート
	12	中国語は難しいですか。形容詞の文、時刻の言い方	事前学習単語シート
	13	いくらですか。お金の言い方	事前学習単語シート
	14	彼女は今年18歳です。年齢の言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	15	私は動物園に行きました。「了」の使い方	事前学習単語シート
	16	復習、期末テスト	総復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社  参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社  また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回出欠確認を行います。</li> <li>・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。</li> <li>・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学共通テストがあります。（50％）</li> <li>・本クラスの評価は50％  毎課小テスト  学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り組み状況など  総合判断します</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目「中国語II」への継続的な学習を薦めます。  「中国語I」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、さらなるレベルアップすることができます。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [法律]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この科目では中華人民共和国の標準語である「普通話」を学ぶ。まず中国語の発音表記であるピンインを学び、正確な発音・聞き取りができるようにする。そして基本的な文法事項、単語、会話を学んでゆく。	メッセージ 中国語学習の基礎段階ではいかに正確な発音を身につけるかということが非常に重要であり、その後の学習に大きな影響を及ぼしていくことになるので発音練習は特に時間をかけ何度も繰り返し復習する。このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。
	到達目標 1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、中国語についての概説、中国語の発音について、発音	ガイダンスの確認、授業の復習
	2	発音（単母音の練習、二重母音の練習、三重母音の練習、鼻母音の練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	3	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	4	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について、声調練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	5	発音（ピンインの書き方の決まり、発音の復習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	6	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動詞「是」	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	基本文型④「主述述語文」、動詞「有」、人やモノの数え方	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	前期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の三分之一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講される「中国語Ⅱ」で続きの内容を学習する。 「中国語Ⅰ」の学習レベルで受験できる検定試験もあるので積極的にチャレンジしてモチベーションを高めてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-児玉 啓子 [地行]	1年	授業終了後、教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>近年、観光立国を掲げている日本や沖縄では、中国語圏からの観光客が増大し、中国語コミュニケーション能力のある人材が各職場で求められています。中国語能力を高め、聞く、話す、読む、書く、翻訳するなどができるように1年間の科目内容を組み立ててあります。将来の就職に備えて、積極的に語学力を養成しましょう。自身の将来の可能性を広げるためにも楽しく学んでいきましょう。</p>	<p>「ことば」を学ぶことは一朝一夕にできるものではありません。しかし、毎日コツコツと努力すれば必ず誰にでもできるようになります。何事もはじめの一步の練習が大事です。特に中国語は発音の基礎から学ぶので、基礎の段階での基礎固めは大事にしなければなりません。中国人留学生とも会話ができるようには是非がんばって、取り組んでいただきたいものです。</p>
到達目標	<p>前期は、中国語の発音ができるようになり、簡単な日常会話ができることを目指します。具体的には、1, ローマ字表記の発音が読めるようになること。2, 聞いた音をローマ字表記で書き取れるようになること。3, 簡単な日常会話が話せるようになること。4, 簡単な中国語の構文が理解できるようになること。5, 中国語の基本的な構造が理解できるようになること。6, 挨拶や日常会話など、コミュニケーションがとれるようになること。7, 話したいことを中国語の文として表現できるようになることです。この段階では、中国語検定試験準4級から4級レベルに到達します。できるようになると楽しいですね。</p>	

学びの実践	学びのヒント																																																			
	授業計画																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>時間外学習の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	回	テーマ	時間外学習の内容	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			13			14			15			16		
	回	テーマ	時間外学習の内容																																																	
1																																																				
2																																																				
3																																																				
4																																																				
5																																																				
6																																																				
7																																																				
8																																																				
9																																																				
10																																																				
11																																																				
12																																																				
13																																																				
14																																																				
15																																																				
16																																																				
テキスト・参考文献・資料など																																																				
学びの手立て																																																				
評価																																																				

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>夏期休暇中の海外提携校への短期留学。中国語2科目履修。中国語3, 中国語4。中国語検定試験準4級、4級、3級取得。台湾東海大学、マカオ大学への長期留学。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [人福]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>グローバル化に伴い異文化の理解が必要だという時代になっています。隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。</p> <p>到達目標</p> <p>このクラスは初級中国語レッスンです。中国語の発音記号「ピンイン」を読めると聞き取れることは中国語学習の第一歩でもありませんし、中国語をマスターするための前提だと言われています。最初では、中国語の発音構造を理解させ、「四声、子音、母音」を聞き取れるよう発音の練習を行います。もちろん正しい表現ができるために、基本的な文法事項を理解する必要があります。中国語 I を修了するには、ピンインをマスターする上で、簡単な日常会話や自己紹介などができることを目標とします。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	登録調整、講義概要の説明	個人の学習目標を設定させる
	2	ピンイン学習① 声調、単母音の練習	教材に付いてあるCDを聞く
	3	ピンイン学習② 複合母音の練習、声調符号の付け方	教材に付いてあるCDを聞く
	4	ピンイン学習③ 子音の練習、発音ルールまとめ	教材に付いてあるCDを聞く
	5	ピンイン学習④ ピンインテスト	ピンイン暗唱、聞き取り練習
	6	テキスト会話 第1課	小テストの準備
	7	テキスト会話 第2課	小テストの準備
	8	テキスト会話 第3課	小テストの準備
	9	テキスト会話 第4課	小テストの準備
	10	テキスト会話 第5課	小テストの準備
	11	テキスト会話 第6課	小テストの準備
	12	テキスト会話 第7課	小テストの準備
	13	ビデオで中国を知る	感想文を書く
	14	総復習	ピンインと文法事項を復習する
	15	全校統一中国語試験	
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初級テキスト 《身につく 中国語》 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくできるためには、声を出して練習しなければなりません。②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト） 50% 小テスト 40% 出席状況 10% の割合で総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期では、中国語Ⅱを修了し、中国語検定試験4級に合格することを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [法律・地行・経済・環政・英米]	2年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>●中国標準語の個々の発音から学びます。ピンイン(中国語の発音記号)と声調(イントネーション)を正しく読み、聞き取った単語を正確にピンインで表記できることを目指します。</p> <p>●基礎文型の習得を通して、中国語の基礎的な構文を理解し、覚えるようにします。</p>	<p>中国は人口大国で、海外進出によって、日本を訪れる人の数が年々増えます。このような状況の下、今後、あらゆる業界で中国語はさらに必要とされるし、使えたほうが仕事の間口が広がるでしょう。中国語を始めたい学生を歓迎します。分かりやすく教えることを常に心がけていますので、安心して受けてください。</p>
到達目標	<p>中国語の発音記号を自己流ではなく、教えられた通りに発音できます。 イントネーション(声調)の各パタンの高さが弁別できます。 中国語基本文型に基づき、与えられた単語でフレーズを正しく作れます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・中国語と日本語が発音における相違・母音の発音	シラバスをよく読む 副音声教材 1
	2	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 1
	3	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 2
	4	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 3
	5	発音のまとめ&単語、決まり文句の読み書き練習 小テスト	サイト練習問題
	6	第一課 読み書き&難読ピンインについての強化練習	練習問題集&副音声教材 4~12
	7	第一課 [是]述語文、まとめ。第二課の単語を導入	同上
	8	第二課 読み書き&難読ピンインについての強化練習	同上
	9	第二課 動詞述語文、形容詞述語文、まとめ。第三課の単語導入	同上
	10	第三課 所有の表現、読み書き練習、小テスト	同上
	11	第四課 数量詞、副詞などの表現、読み書き練習	同上
	12	第五課 助数詞の表現、読み書き&構文練習	同上
	13	第六課 過去と変化を表す言い方、読み書き&構文練習	同上
	14	第七課 前置詞フレーズ、読み書き練習、小テスト	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          老師好(ラオシーハオ)!—王先生との出会い          守屋 宏則(著), 陳 浩(著), 梁 月軍(著) 郁文堂出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          正確な発音は中国語力の土台になるもので、それを身に付けるために、毎回出席して、慣れない音を繰り返す練習に取り組む必要があります。          難読な音や、苦手なイントネーションについて、説明を受け、模範朗読を聞くだけでなく、声を出して、積極的にトレーニングに参加しましょう。          また、分からないことがあれば、放置するのではなく、聞いたり、調べたりしてください。          習った内容を常にテストを行い、チェックします。その結果をよく確かめ、問題点を常に意識して勉強してください。          授業が始まってからの出入りは許可を得てからしてください。</p>
	<p>評価          学期終了時に実施される中国語習得度テスト60%          小テスト(授業中随時に行う)15%、 宿題提出10%、 授業態度など15%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          関連科目として、中国語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-児玉 啓子 [社文(全学年)]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	近年、中国語圏からの観光客が増加し、中国語力を有する人材が各分野で求められています。私達は志を高く持ち、いかなる困難にもめげず、これからの社会で自己の力を発揮できるよう備えていきましょう。	この授業では、初歩の発音から始め、簡単な日常会話ができるようにコミュニケーション能力を育成します。「有志者、事竟成」(志があれば、必ず成し遂げることが出来る)と言われます。楽しく人生を切り開いていきましょう。
到達目標	中国語は声調言語です。はじめは発音記号としてのピンインのローマ字表記の読み方を覚えます。次に単語の読み方、簡単な日常会話の練習をします。更に作文や文の読みに進んでいきます。前期のレベルは中国語検定試験の準4級から4級レベルです。後期には中国語検定試験の3級レベルに到達できるようにすれば履歴書にも書くことが出来ます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	1、オリエンテーション 2、中国語について 3中国語の発音 母音と子音	声調と発音を覚えましょう。
	2	発音練習 声調、単母音、複合母音、子音 発音記号テスト	声調と発音を覚えましょう。
	3	発音練習 声調、単母音、複合母音、子音 発音記号テスト	声調と発音を覚えましょう。
	4	第1課 声調、単母音、複合母音、子音 小テスト	子音を覚えましょう。
	5	第1課の復習 声調、単母音、複合母音、21の子音 小テスト	複合母音を覚えましょう。
	6	第2課 発音の復習 子音 小テスト	授業で習った単語を覚えましょう。
	7	第2課の復習、第3課 鼻母音 軽声 親族名称 人称代名詞 小テスト	親族名称を覚えましょう。
	8	第3課の復習 発音の復習 挨拶用語 小テスト	挨拶用語を覚えましょう。
	9	第4課 声調変化 第3声 下 一の声調変化 小テスト	会話を覚えましょう。
	10	第4課の復習 第5課 動詞、疑問文 名前の聞き方と答え方 中間テスト	第5課の練習問題の予習
	11	第5課の復習 第6課 動詞j 述語文、選択疑問文 小テスト	第6課の練習問題の予習
	12	第6課の復習 第7課 疑問文 指示代名詞 小テスト	第7課の練習問題の予習
	13	第7課の復習 第8課 疑問文 助動詞「想」 時間を表す 小テスト	第8課の練習問題の予習
	14	第8課の復習 第9課 形容詞 疑問文 小テスト	第9課の練習問題の予習
15	第9課の復習 第10課 所有を表す表現 小テスト	第10課の練習問題の予習	
16	総合復習 学期末テスト		

実践	テキスト・参考文献・資料など 使用テキスト『大学生のための 初級中国語 24回』杉野元子・黄漢青著 (白帝社) 参考文献や資料は授業中に紹介します。
----	---

学びの手立て	①初歩から学ぶ中国語は最初の発音が関門となります。気を抜かないでしっかり学びましょう。遅刻・欠席をすると理解できなくなります。体調管理に気をつけて、毎回出席できるように心がけましょう。また、欠席した際の届けは必ず提出して下さい。予習復習も毎回やりましょう。また、随時課題の資料を配布しますので、期限内に提出して下さい。テキストにはCDがついています。CDを聞き、テレビ講座やラジオ講座なども視聴すると上達が早くなります。②課題提出用のA4サイズの薄い大学ノートを用意して下さい。ルーズリーフノートの用紙をはずして提出すると、紛失する危険性がありますのでご協力をお願いします。
--------	---

評価	1、学期末には中国語受講者全員を対象とする統一テストが行われます。内容は単語の発音聴取(ピンイン、声調)です。このテストで50点以上の成績を取得しクリアすると評価の対象者になります。統一テストをクリアした学生のみ、いかの基準で評価します。2、毎回授業中に実施する小テストの成績(15%)、中間試験(35%)、期末試験(35%)、教科書の読み方(5%)、課題などの提出物(10%)を総合的に評価します。
----	--

学びの継続	次のステージ・関連科目 中国語2、中国語3、中国語4、台湾東海大学夏季短期研修(一ヵ月)、台湾東海大学春春季短期研修(一ヵ月)、台湾東海大学長期研修(一年)。マカオ大学長期研修(一年)
-------	---



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [日文]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>グローバル化に伴い異文化の理解が必要だという時代になっています。隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。</p> <p>到達目標</p> <p>このクラスは初級中国語レッスンです。中国語の発音記号「ピンイン」を読めると聞き取れることは中国語学習の第一歩でもありませんし、中国語をマスターするための前提だと言われています。最初では、中国語の発音構造を理解させ、「四声、子音、母音」を聞き取れるよう発音の練習を行います。もちろん正しい表現ができるために、基本的な文法事項を理解する必要があります。中国語 I を修了するには、ピンインをマスターする上で、簡単な日常会話や自己紹介などができることを目標とします。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	登録調整、講義概要の説明	個人の学習目標を設定させる
	2	ピンイン学習① 声調、単母音の練習	教材に付いてあるCDを聞く
	3	ピンイン学習② 複合母音の練習、声調符号の付け方	教材に付いてあるCDを聞く
	4	ピンイン学習③ 子音の練習、発音ルールのおまとめ	教材に付いてあるCDを聞く
	5	ピンイン学習④ ピンインテスト	ピンイン暗唱、聞き取り練習
	6	テキスト会話 第1課	小テストの準備
	7	テキスト会話 第2課	小テストの準備
	8	テキスト会話 第3課	小テストの準備
	9	テキスト会話 第4課	小テストの準備
	10	テキスト会話 第5課	小テストの準備
	11	テキスト会話 第6課	小テストの準備
	12	テキスト会話 第7課	小テストの準備
	13	ビデオで中国を知る	感想文を書く
	14	総復習	ピンインと文法事項を復習する
	15	全校統一中国語試験	
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初級テキスト 《身につく 中国語》 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくできるためには、声を出して練習しなければなりません。②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト）50% 小テスト 40% 出席状況 10% の割合で総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期では、中国語Ⅱを修了し、中国語検定試験4級に合格することを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-張 維 真 [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	msweijena@gmail.com	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎的な発音をマスターし、実践的な会話を身につける。 授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。	メッセージ 現在の日本には中国人観光客を含め、多くの中国人が訪れるようになりまし。これからは中国語が役に立つ世の中になってくることでしょう。日常生活で分からない中国語があったらお気軽に声をおかけください。
	到達目標 中国語検定準四級レベルのスキル習得を目標としています。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	中国語で名前を呼ぶ、四声の練習	お家で鏡を見て声調を練習する
	3	四声の確認チェック、有気音、無気音の練習	お家で発音を復習する
	4	有気音、無気音の確認チェック、母音の紹介	同上
	5	発音の確認テスト、鼻音の練習	同上
	6	巻舌音の練習	同上
	7	複合母音と特別な子音の練習	同上
	8	発音の総合復習、第一課	CDを聞きながら、発音を復習する
	9	発音小テスト、第一課演習	同上
	10	第二課、 第一、二課の演習とチェック	同上
	11	リスニングテスト、第三課	同上
	12	第四課	同上
	13	第三、四課復習と演習	同上
	14	統一テストの対策、第五課	同上
	15	期末テストの復習、統一習得度テスト	復習プリントを暗記する
	16	期末テスト	テスト勉強
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など        老師好！一王先生との出会い 守屋宏則 陳浩 梁月軍</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て        板書を写すこと。出席を100%を要求する。 欠席した場合次の授業で前回の分の確認チェックを行うこと。        授業中携帯使用禁止。</p>
	<p>評価        統一習得度テスト40%、毎回の出席とオーラルチェック30%、期末テスト20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目        後期も続けて勉強することをおすすめします。一年間続けて中国語を学んだ上で日常会話力を身につけることができ、新たな視野でものを見ることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [経済・環政]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指す。 正しい発音のマスターに重点を置き、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、いろんな場面ですぐ使える簡単な会話能力を身につけることができる。また中国の生活習慣や社会文化も紹介し、異文化への理解を深めることができる。	メッセージ 初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。 このクラスは経済学部(経済学科、地域環境学科)の一年次の学生が対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。
	到達目標 ・中国語の表現及び正確な発音をを習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とする。 ・異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、中国語について	シラバスをよく読むこと
	2	中国語の発音① 声調、音節	事前学習単語シート
	3	中国語の発音② 母音	事前学習単語シート
	4	中国語の発音③ 子音①	事前学習単語シート
	5	中国語の発音④ 子音②	事前学習単語シート
	6	お国はどこですか。動詞「是」、いろいろな疑問文	事前学習単語シート
	7	お名前は何？姓とフルネームの言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	8	何を食べたい？動詞文、選択疑問文	事前学習単語シート
	9	図書館に行きたい 連動文、助動詞「想」	事前学習単語シート
	10	キャンパスの中に銀行はありますか。動詞「有」と「在」	事前学習単語シート
	11	今日は何曜日？年月日、曜日の言い方	事前学習単語シート
	12	中国語は難しいですか。形容詞の文、時刻の言い方	事前学習単語シート
	13	いくらですか。お金の言い方	事前学習単語シート
	14	彼女は今年18歳です。年齢の言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	15	私は動物園に行きました。「了」の使い方	事前学習単語シート
	16	復習、期末テスト	総復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社  参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社  また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回出欠確認を行います。</li> <li>・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。</li> <li>・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学共通テストがあります。（50%）</li> <li>・本クラスの評価は50%  每課小テスト  学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り込み状況など  総合判断します</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目「中国語II」への継続的な学習を薦めます。  「中国語I」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、さらなるレベルアップすることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	金田 知子 [日文]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>グローバル化に伴い異文化の理解が必要だという時代になっています。隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>
到達目標	<p>中国語Ⅰに引き続き、発音の練習を繰り返しながら基本的な文法項目を理解し、実用的な中国語を習得します。1年間を通して、中国語の「聞く・話す・読む・書く」などの基礎力を身につけて、中国語検定試験4級の合格を目指します。 中国語を習得すると共に異文化理解を深めていくことも目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の内容の復習	プリントを配布する
	2	テキスト会話 第8課	宿題を出す
	3	テキスト会話 第9課	宿題を出す
	4	テキスト会話 第10課	宿題を出す
	5	テキスト会話 第11課	宿題を出す
	6	テキスト会話 第11課	宿題を出す
	7	テキスト会話 第12課	宿題を出す
	8	テキスト会話 第12課	宿題を出す
	9	テキスト会話 第13課	宿題を出す
	10	テキスト会話 第13課	宿題を出す
	11	テキスト会話 第14課	宿題を出す
	12	テキスト会話 第14課	宿題を出す
	13	テキスト会話 第15課	宿題を出す
	14	テキスト会話 第15課	宿題を出す
	15	テキスト会話 第16課	宿題を出す
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 初級テキスト 《身につく 中国語》 楊凱栄・張麗群 著 白帝社</p>
	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくするためには、声を出して練習しなければなりません。②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト） 50% 小テスト 40% 出席状況 10% の割合で総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	車 莉莉 [企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい 中国語Ⅰを履修済みの学生（前期期末習得度テストに合格した者）が対象です。前期に引き続き、発音練習を継続しながら、基礎文法を習得し、簡単な事柄を中国語で表現できるようになることを目標とします。	メッセージ 中国語は、ある程度まで習得するのは大変難しいイメージがあるかもしれませんが、しかし、反復練習と継続学習で、必ず結果として出てきます。実践まで行かずに途中から諦めることは後々後悔することになりかねません。やれるところまでやってください、受講生の皆さんを応援します。
	到達目標 ピンインで、素早く、正確に単語やフレーズを読めます。 声の高低を声調表記の通り、比較的正しく制御できます。 文法に則ったフレーズや短文が書けます。 漢字とピンインをあわせて覚えます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、これまで習った内容の復習、練習	ガイダンスをよく読むこと
	2	第七課 前置詞「在`」&前置詞フレーズ、語彙の意味	練習問題集&音声副教材
	3	第八課 打消「没`」の意味&使い方	同上
	4	第九課 比較の表現、語彙の意味	同上
	5	第十課 願望を表す言い方	同上
	6	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	7	第十一課 方向補語、動作の持続	練習問題集&音声副教材
	8	第十二課 進行を表す言い方、接続詞	同上
	9	第十三課 可能を表す助動詞	同上
	10	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	11	第十四課 「把」による処置文の意味1	練習問題集&音声副教材
	12	第十四課 「把」による処置文の意味2	同上
	13	程度補語・方向補語と可能	同上
	14	まとめ&総合練習	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】：「老口好！ 一王先生との出会い」 郁文堂出版社 守屋 宏則（著），陳 浩（著），梁 月軍（著）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>間違った発音の癖がつく可能性があるため、指摘された発音について、必ず繰り返し練習してください。中国語をフレーズで覚える最大のメリットは応用しやすいことです。習った文法、句型などを活かし、生活場面の会話を始めるように常に心がけましょう。対面教授は語学を習得するには大きな意味があります、毎回の授業に出るよう努力してください。授業が始まってからの出入りは許可をもらってからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>習得度テスト（共通テスト）60% 朗読発表&amp;小テスト15%、宿題10%、出席状況、授業態度などを総合して15%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目としては：中国語Ⅲ、交換留学先の中国語授業など。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [法律]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この科目では「中国語Ⅰ」を履修した者あるいは同等以上の能力を有する者を対象に、聞いて話せる実用的な中国語の習得を目指す。正確な発音と声調の定着を目指すとともに、「読み」「書き」「聞く」「話す」の基礎的な学習事項を進めていく。	「中国語Ⅰ」で学んだ内容を振り返りながらさらに学習を進めて行く。 「中国語Ⅱ」は「中国語Ⅰ」を履修済みの学生が登録できる。 このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。

到達目標
1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、発音の復習	ガイダンスの確認、発音の復習
	2	発音の復習、前期学習事項の復習	前期学習事項の復習、発音の復習
	3	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	4	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	5	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	6	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	語気助詞、副詞、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	後期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」が開講されるので引き続き受講し学びを深めてほしい。</p> <p>検定試験やスピーチコンテストなどにも積極的にチャレンジしてレベルアップを目指してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [全学科(全学年)]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。</p>	<p>初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。このクラスは全学年、全学科の学生が登録可能です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の表現及び正確な発音を習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とします。</li> <li>異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。</li> <li>実力をアップし、中国語検定への合格を目指します。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスをよく読むこと、復習
	2	四川料理食べたことがありますか。経験を表す「過」、比較文	事前学習単語シート
	3	二胡できますか。助動詞、二重目的語文	事前学習単語シート
	4	みかんを食べてもいい？助動詞「可以」、副詞	事前学習単語シート
	5	君の中国語上手ですね。様態補語、時間の長さ	事前学習単語シート
	6	もう一度言ってください。結果補語、回数の言い方	事前学習単語シート
	7	いつ無くしたの？禁止構文	事前学習単語シート
	8	店に入って食べよう。方向補語	事前学習単語シート
	9	何をしているの？動作行為の進行を表す表現	事前学習単語シート
	10	横浜は東京から遠いですか。前置詞「離、従、到」	事前学習単語シート
	11	彼は来ない。助動詞「能、会」	事前学習単語シート
	12	彼をスーパーへ買い物に行かせた。使役表現	事前学習単語シート
	13	早く窓を閉めよう。「把」構文	事前学習単語シート
	14	体温計は父が壊した。受け身表現	事前学習単語シート
	15	来週冬休みになる。「就要・・・了」	事前学習単語シート
	16	復習、期末テスト	総復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社  参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社  また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回出欠確認を行います。</li> <li>・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。</li> <li>・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学共通テストがあります。（50%）</li> <li>・本クラスの評価は50%  每課小テスト  学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り組み状況など  総合判断します</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらなる中級、上級クラスへの継続的な学習を薦めます。  「中国語II」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、実際に役に立つ中国語を身につけることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [人福]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>グローバル化に伴い異文化の理解が必要だという時代になっています。隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>
到達目標	<p>中国語Ⅰに引き続き、発音の練習を繰り返しながら基本的な文法項目を理解し、実用的な中国語を習得します。1年間を通して、中国語の「聞く・話す・読む・書く」などの基礎力を身につけて、中国語検定試験4級の合格を目指します。 中国語を習得すると共に異文化理解を深めていくことも目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の内容の復習	プリントを配布する
	2	テキスト会話 第8課	宿題を出す
	3	テキスト会話 第9課	宿題を出す
	4	テキスト会話 第10課	宿題を出す
	5	テキスト会話 第11課	宿題を出す
	6	テキスト会話 第11課	宿題を出す
	7	テキスト会話 第12課	宿題を出す
	8	テキスト会話 第12課	宿題を出す
	9	テキスト会話 第13課	宿題を出す
	10	テキスト会話 第13課	宿題を出す
	11	テキスト会話 第14課	宿題を出す
	12	テキスト会話 第14課	宿題を出す
	13	テキスト会話 第15課	宿題を出す
	14	テキスト会話 第15課	宿題を出す
	15	テキスト会話 第16課	宿題を出す
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初級テキスト 《身につく 中国語》 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくできるためには、声を出して練習しなければなりません。②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト） 50% 小テスト 40% 出席状況 10% の割合で総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期では、中国語Ⅱを修了し、中国語検定試験4級に合格することを目指してください。更に中国語Ⅲを登録し、語彙を増やしながら中国語の応用練習をしてください。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [法律・地行・経済・環政・英米]	2年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい 中国語Ⅰを履修済みの学生（前期期末習得度テストに合格した者）が対象です。前期に引き続き、発音練習を継続しながら、基礎文法を習得し、簡単な事柄を中国語で表現できるようになることを目標とします。	メッセージ 中国語は、ある程度まで習得するのは大変難しいイメージがあるかもしれませんが、しかし、反復練習と継続学習で、必ず結果として出てきます。実践まで行かずに途中から諦めることは後々後悔することになりかねません。やれるところまでやってください、皆さんを応援します。
	到達目標 ピンインで、素早く、正確に単語やフレーズを読めます。 声の高低を声調表記の通り、比較的正しく制御できます。 文法に則ったフレーズや短文が書けます。 漢字とピンインをあわせて覚えます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、これまで習った内容の復習、練習	ガイダンスをよく読むこと
	2	第七課 前置詞「在`」&前置詞フレーズ、語彙の意味	練習問題集&音声副教材
	3	第八課 打消「没`」の意味&使い方	同上
	4	第九課 比較の表現、語彙の意味	同上
	5	第十課 願望を表す言い方	同上
	6	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	7	第十一課 方向補語、動作の持続	練習問題集&音声副教材
	8	第十二課 進行を表す言い方、接続詞	同上
	9	第十三課 可能を表す助動詞	同上
	10	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	11	第十四課 「把」による処置文の意味1	練習問題集&音声副教材
	12	第十四課 「把」による処置文の意味2	同上
	13	程度補語・方向補語と可能	同上
	14	まとめ&総合練習	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】：「老口好！ 一王先生との出会い」 郁文堂出版社 守屋 宏則（著），陳 浩（著），梁 月軍（著）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>間違った発音の癖がつく可能性があるため、指摘された発音について、必ず繰り返し練習してください。中国語をフレーズで覚える最大のメリットは応用しやすいことです。習った文法、句型などを活かし、生活場面の会話を始めるように常に心がけましょう。対面教授は語学を習得するには大きな意味があります、毎回の授業に出るよう努力してください。授業が始まってからの出入りは許可をもらってからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>習得度テスト（共通テスト）60% 朗読発表&amp;小テスト15%、宿題10%、出席状況、授業態度などを総合して15%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目としては：中国語Ⅲ、交換留学先の中国語授業など。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-張 維 真 [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	msweijena@gmail.com	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎的な発音をマスターし、実践的な会話を身につける。 授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。	メッセージ 現在の日本には中国人観光客を含め、多くの中国人が訪れるようになりまし。これからは中国語が役に立つ世の中になってくることでしょう。日常生活で分からない中国語があったらお気軽に声をおかけください。
	到達目標 中国語検定準四級レベルのスキル習得を目標としています。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	発音の復習. 第一課～五課会話練習	お家で前期内容を復習する
	3	第六課内容説明. 演習とチェック	お家で単語を覚える
	4	第七課内容説明. 演習とチェック	同上
	5	第八課内容説明. 演習とチェック. 小テスト	同上
	6	第六～八課の範囲で会話作りと発表	同上
	7	第九課内容説明. 演習とチェック	同上
	8	第十課内容説明. 演習とチェック	CDを聞きながら、発音を復習する
	9	第十一課内容説明. 演習とチェック	同上
	10	第十二課内容説明. 演習とチェック	同上
	11	第九～十二課総合演習. チームで発表	同上
	12	第十三課内容説明. 演習とチェック	同上
	13	第十四課内容説明. 演習とチェック	同上
	14	第十五課内容説明. 演習とチェック	同上
	15	期末テストの復習、統一習得度テスト	復習プリントを暗記する
	16	期末テスト	テスト勉強
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          老師好！一王先生との出会い 守屋宏則 陳浩 梁月軍</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          板書を写すこと。出席を100%を要求する。欠席した場合次の授業で前回の分の確認チェックを行うこと。授業中携帯使用禁止。</p>
	<p>評価          統一習得度テスト40%、毎回の出席とオーラルチェック30%、小テスト10%、期末テスト20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          後期も続けて勉強することをおすすめします。一年間続けて中国語を学んだ上で日常会話力を身につけることができ、新たな視野でものを見ることができます。</p>

※ポリシーとの関連性

中国語を学ぶことにより、地域社会、国際社会に貢献し、コミュニケーション能力の有る人材を育成します。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-児玉 啓子 [地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 近年、増加傾向にある中国語圏からの観光客により、沖縄では中国語能力のある人材育成が急務の課題となっています。将来、活躍できるように語学力を磨いておきましょう。皆さんの未来には輝く世界が待っていることでしょう。	メッセージ 中国語でコミュニケーションが出来たら、違う世界が見えてきます。楽しく、語学力を磨いていきましょう。
	到達目標 前期の授業では、中国語の発音やピンインの読み方、簡単な会話、自己紹介などが出来るようになりました。更に学びを進めて、日常会話の幅を広げていきましょう。ピンインで書かれたものはすぐに読めるようになること、読めるものは聞けるようになります。読めたり聞けたりしたものは意味が分かり、会話ができるように運用していきましょう。初歩的な中国語の構造が分かり、簡単な文章が書けるようになること、中国語で会話ができるようになること、更には、中国語検定試験の3級レベルを目指しましょう。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期の授業計画、履修上の注意、前期の復習、	前期の復習 第10課 予習
	2	第10課 復習、第11課文末の「了」、時刻の表し方、前置詞「在」小テスト	第11課の復習、第12課の予習
	3	第11課 復習、第12課 時刻の表し方、連動文、年月日、曜日小テスト	第12課の復習、第13課予習
	4	第12課 復習、第13課 指示代名詞、「なぜ、どうして」小テスト	第13課の復習、第14課予習
	5	第13課 復習、第14課 動詞を使う 「どこに、なにが」小テスト	第14課の復習、第15課予習
	6	第14課 復習、第15課 「～したことがある」小テスト	第15課の復習、第16課予習
	7	第15課 復習、第16課 「～から～へ行く」 中間テスト	第16課の復習、第17課予習
	8	第16課 復習、第17課 「～ができる」小テスト	第17課の復習、第18課予習
	9	第17課 復習、第18課 比較を表す 「～より高い」小テスト	第18課の復習、第19課予習
	10	第18課 復習、第19課 「～なんです」 金額の言い方 小テスト	第19課の復習、第20課予習
	11	第19課 復習、第20課 「ちょっと～」小テスト	第20課の復習、第21課予習
	12	第20課 復習、第21課 「～している」「～しないで」小テスト	第21課の復習、第22課予習
	13	第21課 復習、第22課 「～をどうする」「～の仕方が～」小テスト	第22課の復習、第23課予習
	14	第22課 復習、第23課 「～された」「～してもよい」小テスト	第23課の復習、第24課予習
	15	第23課 復習、第24課 「ますます～している」小テスト	第24課の復習、期末テスト準備
16	総合復習 期末テスト		

テキスト・参考文献・資料など	使用テキスト『大学生のための 初級中国語 24回』杉野元子・黄漢青 著 (白帝社) ￥2400+税 参考文献『中国語検定4級 一ヵ月でできる総仕上げ』白帝社
----------------	---

学びの手立て	前期に引き続き中国語の簡単な会話、構文からはじめ、流暢に話せるように練習します。訓練が大事なので、遅刻・欠席が無いように体調管理に気をつけてください。なお、欠席をした際は必ず、欠席届を提出して下さい。毎回小テストがあり、理解を助けるようにしますので、予習復習は欠かさず行い、テストに備えて下さい。語学をマスターするには努力が必要です。頑張りましょう。テキストのCDを聞き、テレビやラジオなどの講座も出来るだけ参考にして下さい。
--------	---

評価	1、前期同様に、中国語受講者全員に対して到達度テストを実施します。内容は声調と発音、基本語彙、基本文型の理解力、作文力です。このテストで50点以上取得した学生に対し、各教員の評価が与えられます。2、中間試験(40%)、期末試験(40%)、小テスト(15%)、課題(5%)の配分で総合的に評価します。
----	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 中国語3、中国語4 中国語圏への短期留学、長期留学
-------	--

※ポリシーとの関連性

中国語を学ぶことにより、地域社会、国際社会に貢献し、コミュニケーション能力の有る人材を育成します。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-児玉 啓子 [社文(全学年)]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	近年、増加傾向にある中国語圏からの観光客により、沖縄では中国語能力のある人材育成が急務の課題となっています。将来、活躍できるように語学力を磨いておきましょう。皆さんの未来には輝く世界が待っていることでしょう。	中国語でコミュニケーションが出来たら、違う世界が見えてきます。楽しく、語学力を磨いていきましょう。

到達目標	前期の授業では、中国語の発音やピンインの読み方、簡単な会話、自己紹介などが出来るようになりました。更に学びを進めて、日常会話の幅を広げていきましょう。ピンインで書かれたものはすぐに読めるようになること、読めるものは聞けるようになります。読めたり聞けたりしたものは意味が分かり、会話ができるように運用していきましょう。初歩的な中国語の構造が分かり、簡単な文章が書けるようになること、中国語で会話ができるようになること、更には、中国語検定試験の3級レベルを目指しましょう。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期の授業計画、履修上の注意、前期の復習、	前期の復習 第10課 予習
	2	第10課 復習、第11課文末の「了」、時刻の表し方、前置詞「在」小テスト	第11課の復習、第12課の予習
	3	第11課 復習、第12課 時刻の表し方、連動文、年月日、曜日小テスト	第12課の復習、第13課予習
	4	第12課 復習、第13課 指示代名詞、「なぜ、どうして」小テスト	第13課の復習、第14課予習
	5	第13課 復習、第14課 動詞を使う「どこに、なにが」小テスト	第14課の復習、第15課予習
	6	第14課 復習、第15課 「～したことがある」小テスト	第15課の復習、第16課予習
	7	第15課 復習、第16課 「～から～へ行く」中間テスト	第16課の復習、第17課予習
	8	第16課 復習、第17課 「～ができる」小テスト	第17課の復習、第18課予習
	9	第17課 復習、第18課 比較を表す「～より高い」小テスト	第18課の復習、第19課予習
	10	第18課 復習、第19課 「～なんです」金額の言い方 小テスト	第19課の復習、第20課予習
	11	第19課 復習、第20課 「ちょっと～」小テスト	第20課の復習、第21課予習
	12	第20課 復習、第21課 「～している」「～しないで」小テスト	第21課の復習、第22課予習
	13	第21課 復習、第22課 「～をどうする」「～の仕方が～」小テスト	第22課の復習、第23課予習
	14	第22課 復習、第23課 「～された」「～してもよい」小テスト	第23課の復習、第24課予習
15	第23課 復習、第24課 「ますます～している」小テスト	第24課の復習、期末テスト準備	
16			

実践	テキスト・参考文献・資料など 『大学生のための 初級中国語 24回』 杉野 元子・黄漢青著 (白帝社) ¥2400+税 『中国語検定4級 1ヶ月でできる総仕上げ』 白帝社 『中国語検定3級 1ヶ月でできる総仕上げ』 白帝社
----	--

学びの手立て	前期に引き続き中国語の簡単な会話、構文からはじめ、流暢に話せるように練習します。訓練が大事なので、遅刻・欠席が無いように体調管理に気をつけてください。なお、欠席をした際は必ず、欠席届を提出して下さい。毎回小テストがあり、理解を助けるようにしますので、予習復習は欠かせずに行い、テストに備えて下さい。語学をマスターするには努力が必要です。頑張りましょう。テキストのCDを聞き、テレビやラジオなどの講座も出来るだけ参考にして下さい。
--------	--

評価	1、前期同様に、中国語受講者全員に対して到達度テストを実施します。内容は声調と発音、基本語彙、基本文型の理解力、作文力です。このテストで50点以上取得した学生に対し、各教員の評価が与えられます。2、中間試験(40%)、期末試験(40%)、小テスト(15%)、課題(5%)の配分で総合的に評価します。
----	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 中国語3、中国語4 中国語圏への短期留学、長期留学
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [経済・環政]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国語の表現及び正確な発音を習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とします。</li> <li>異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。</li> <li>実力をアップし、中国語検定への合格を目指します。</li> </ul>	<p>初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。このクラスは経済学部(経済学科、地域環境学科)の一年次の学生が対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスをよく読むこと、復習
	2	四川料理食べたことがありますか。経験を表す「過」、比較文	事前学習単語シート
	3	二胡できますか。助動詞、二重目的語文	事前学習単語シート
	4	みかんを食べてもいい？助動詞「可以」、副詞	事前学習単語シート
	5	君の中国語上手ですね。様態補語、時間の長さ	事前学習単語シート
	6	もう一度言ってください。結果補語、回数の言い方	事前学習単語シート
	7	いつ無くしたの？禁止構文	事前学習単語シート
	8	店に入って食べよう。方向補語	事前学習単語シート
	9	何をしているの？動作行為の進行を表す表現	事前学習単語シート
	10	横浜は東京から遠いですか。前置詞「離、従、到」	事前学習単語シート
	11	彼は来ない。助動詞「能、会」	事前学習単語シート
	12	彼をスーパーへ買い物に行かせた。使役表現	事前学習単語シート
	13	早く窓を閉めよう。「把」構文	事前学習単語シート
	14	体温計は父が壊した。受け身表現	事前学習単語シート
	15	来週冬休みになる。「就要・・・了」	事前学習単語シート
	16	復習、期末テスト	総復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社  参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社  また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回出欠確認を行います。</li> <li>・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。</li> <li>・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学共通テストがあります。（50%）</li> <li>・本クラスの評価は50%  每課小テスト  学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り組み状況など  総合判断します</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらなる中級、上級クラスへの継続的な学習を薦めます。  「中国語II」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、実際に役に立つ中国語を身につけることができます。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	島袋 直樹 [英米]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この科目では「中国語Ⅰ」を履修した者あるいは同等以上の能力を有する者を対象に、聞いて話せる実用的な中国語の習得を目指す。正確な発音と声調の定着を目指すとともに、「読み」「書き」「聞く」「話す」の基礎的な学習事項を進めていく。	「中国語Ⅰ」で学んだ内容を振り返りながらさらに学習を進めて行く。 「中国語Ⅱ」は「中国語Ⅰ」を履修済みの学生が登録できる。 このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。

到達目標
1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、発音の復習	ガイダンスの確認、発音の復習
	2	発音の復習、前期学習事項の復習	前期学習事項の復習、発音の復習
	3	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	4	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	5	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	6	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	語気助詞、副詞、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	後期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」が開講されるので引き続き受講し学びを深めてほしい。</p> <p>検定試験やスピーチコンテストなどにも積極的にチャレンジしてレベルアップを目指してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏 [全学科]	2年	研究室5-501 メール: kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は基礎中国語を履修した学生を対象としている。授業では初習段階での中国語の基礎の復習で発音や聴解力を高め自信を持てるようになりましょう。	メッセージ 2年目の中国語です。基本的な会話ができるようになるためにも最初の2か月が勝負です。中国人留学生のSAもヘルプしてくれます。毎回中国語で短い会話を練習しましょう。不断の学習がキーです。
	到達目標 具体的な目標として学は、後期に開催される学内中国語スピーチコンテストへの原稿作りができるレベルを目指す。また、中国語検定4～3級程度の語彙力と聴解力を習得する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	自己紹介とオリエンテーション (履修上の注意と約束事)	自己紹介文の作成
	2	習得度測定テスト 分析と結果	既習事項を確認します。
	3	疑問文の総復習 形容詞・動詞・名詞構文について	基本文型の確認
	4	副詞 (場所・時間・方法・様態)	副詞の機能を学習
	5	完了の“了” と 変化の“了”	完了とアスペクトを学習
	6	補語 (結果・方向・可能)	補語の働きを理解する。
	7	比較の文型	否定表現に注意
	8	連動文 助動詞	「できる」について
	9	中間テスト①	
	10	解答と総復習	弱点の確認
	11	短文の聴解	聴解の強化
	12	短文の聴解	同上
	13	短文の聴解	同上
	14	和・中訳文の練習	作文の練習・辞書の活用
	15	総復習	
	16	中間テスト②	
	17	評価と分析	弱点対策
	18	会話トピックの選定	
	19	トピック関連の発話文の作成	基本文型の確認・辞書の活用
	20	紹介文の作り方 (人物)	同上
	21	同上 (イベント・趣味)	同上
	22	同上 (地域・歴史)	同上
	23	同上 (グルメ・案内)	同上
	24	口頭発表 (実践)	発音の矯正
	25	同上	同上
	26	同上	同上
	27	同上	同上
	28	発表原稿の添削および提出	中国語の文章表現の確認
	29	同上	同上
30	同上	同上	
31	評価および総括	これからの対策	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>前半は中国語Ⅰ・Ⅱで使用した教科書を使用。  後半はプリントを配布し作文の練習を行います。  辞書、その他、参考書や検定試験問題集を活用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎朝15分の中国語を聞きましょう。既習した文章を聞いて発音してみましょう。  辞書を引く習慣をつけてください。S Aの方との短い会話にトライしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト①&amp;③が各20%評価で計40%  口頭発表での発音、態度、声量などを総合的に評価、30%  最終日に提出する中国語スピーチコンテストの原稿が30%、</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>人前でも自信をもって発話できるように度胸をつけましょう。  語彙や表現力を高めるために「中国語Ⅳ」に挑戦しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏 [全学科]	2年	研究室5-501 メール: kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は実社会で使われる中国語表現（口語会話）以外に語彙力を高めるために日本の文化や現代中国の社会を紹介する課題文を精読し、中国文の表現能力を培う。	メッセージ 中国語Ⅰ～Ⅳで学習した中国語の基本文型および音声を各自で復習してください。使用した教科書を再度精読してください。
	到達目標 現代中国語の社会、文化などをネットを利用して中国語で調べ、日本との相違、相似を理解できるようになってください。 (中国語検定試験の3～2級を目指してください)	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	講義の内容とルールの確認
	2	中国語スピーチコンテスト練習と指導	発話練習
	3	中国語スピーチコンテスト練習と指導	同上
	4	既習事項の総復習	文法と音声の再確認
	5	習得度テスト	
	6	評価と分析	弱点発見と対策
	7	中国の文化・社会を知る / 日本の文化・社会を紹介する	課題文の理解と質疑
	8	同上	同上
	9	同上	同上
	10	同上	同上
	11	同上	同上
	12	同上	同上
	13	口頭発表の課題文の提示と選択	課題の選択とプレゼン練習（暗唱）
	14	同上	同上
	15	同上	同上
	16	発表実践	実際に発表&質疑
	17	同上	同上
	18	同上	同上
	19	総復習と質疑（調整日） 原稿提出	自己分析と質疑
	20	会話文：中国と日本の食文化について	理解と発話練習（暗記）
	21	同上	同上
	22	会話文：中国と日本の大学生	理解と発話練習（暗記）
	23	同上	同上
	24	会話：中国と日本の祝祭日	理解と発話練習（暗記）
	25	同上	同上
	26	会話文の理解確認	質疑
	27	同上	同上
	28	総復習：質疑	
29	総復習		
30	期末試験		
31	評価と分析		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>既に購入した教科書を継続使用 中日・日中辞書 検定問題集など</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>中国語による表現は日本語を直訳すると大きな誤解を招くことがあります。同様な漢字圏であっても表現の違いを意識して学習しましょう。音声に関しては基本文を暗記して口に出す習慣を身に付けて下さい。SAのいへるプ有りです、このチャンスを積極的に活用して下さい。 語彙力、基礎力を高めるために検定試験の過去問にトライすることを勧めます。</p>
	<p>評価</p> <p>中国語スピーチの取り組状況（原稿および発表）（30%） 教室内で中国語による会話文と質疑（40%） 学期末の期末試験の成績を基準に成績評価を行う（30%）、</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>検定試験に挑戦してください。 学内外のスピーチコンテストに積極的に参加してください。</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語 I	期別	曜日・時限	単位
		前期	月4・木4	2
	担当者 クラウス・フランケ（月）、漆谷球美子（木） [人福]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年		

学びの準備	ねらい この授業は、現代口語ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得をめざす。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知る。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができるようになる。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得する。ドイツの現状を知ることで、ヨーロッパを透して世界の情勢の理解を促す。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	担当者の自己紹介、授業に関するガイダンス。Das Alphabet	発音練習
	2	発音、母音、二重母音	発音練習
	3	発音、子音	発音練習
	4	Lektion 1 自己紹介：現在人称変化、規則動詞、sein	予習
	5	疑問詞のある疑問文、Ja/Nein	予習
	6	Lektion 2 余暇：現在人称変化、不規則動詞、haben	予習
	7	否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順	予習
	8	否定詞、1・2課のまとめ（人称変化を中心に）	予習
	9	Lektion 3 持ち物：名詞の性、定冠詞、不定冠詞	予習
	10	否定冠詞、所有冠詞	予習
	11	人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形	予習
	12	Lektion 4 家族：格変化	予習
	13	人称代名詞の3格	予習
	14	否定詞nichtと否定冠詞kein	予習
	15	3・4課のまとめ（名詞の格変化を中心に）	予習
	16	前期期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社）9784384122633（I S B N）          エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>ドイツ人と日本人のチームで授業をします。学科指定を守ってください。          テキストと「独和辞典」をもって出席すること。          授業の前には、テキストに付いているCDを聴いて発音の練習と予習をしておいてください。          また、適時、授業中に小テストをおこなうこともある。</p>
	<p>評価</p> <p>出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>



科目基本情報	科目名 ドイツ語 I	期 別	曜日・時限	単 位
		前期	月 3・木 3	2
	担当者 岡野 薫 (月)、クラウス・フランケ (木) [日文・社文]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1 年		

学びの準備	ねらい この授業は、現代口語ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得をめざす。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知る。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができるようになる。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得する。ドイツの現状を知ることで、ヨーロッパを透して世界の情勢の理解を促す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	担当者の自己紹介、授業に関するガイダンス。Das Alphabet	発音練習
	2	発音、 母音、二重母音	発音練習
	3	発音、 子音	発音練習
	4	Lektion 1 自己紹介：現在人称変化、規則動詞、sein	予習
	5	疑問詞のある疑問文、 Ja/Nein	予習
	6	Lektion 2 余暇：現在人称変化、不規則動詞、haben	予習
	7	否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順	予習
	8	否定詞、1・2課のまとめ (人称変化を中心に)	予習
	9	Lektion 3 持ち物：名詞の性、定冠詞、不定冠詞	予習
	10	否定冠詞、所有冠詞	予習
	11	人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形	予習
	12	Lektion 4 家族：格変化	予習
	13	人称代名詞の3格	予習
	14	否定詞nichtと否定冠詞kein	予習
	15	3・4課のまとめ (名詞の格変化を中心に)	予習
	16	前期期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社）9784384122633（I S B N）          エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>ドイツ人と日本人のチームで授業をします。学科指定を守ってください。          テキストと「独和辞典」をもって出席すること。          授業の前には、テキストに付いているCDを聴いて発音の練習と予習をしておいてください。          また、適時、授業中に小テストをおこなうこともある。</p>
	<p>評価</p> <p>出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	クラウス・フランケ(月)、岡野 薫(木) [経済・環政・企シ・産情・英米]	1年		

学びの準備	ねらい この授業は、現代口語ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得をめざす。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知る。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができるようになる。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得する。ドイツの現状を知ることで、ヨーロッパを透して世界の情勢の理解を促す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	担当者の自己紹介、授業に関するガイダンス。Das Alphabet	発音練習
	2	発音、母音、二重母音	発音練習
	3	発音、子音	発音練習
	4	Lektion 1 自己紹介：現在人称変化、規則動詞、sein	予習
	5	疑問詞のある疑問文、Ja/Nein	予習
	6	Lektion 2 余暇：現在人称変化、不規則動詞、haben	予習
	7	否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順	予習
	8	否定詞、1・2課のまとめ（人称変化を中心に）	予習
	9	Lektion 3 持ち物：名詞の性、定冠詞、不定冠詞	予習
	10	否定冠詞、所有冠詞	予習
	11	人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形	予習
	12	Lektion 4 家族：格変化	予習
	13	人称代名詞の3格	予習
	14	否定詞nichtと否定冠詞kein	予習
	15	3・4課のまとめ（名詞の格変化を中心に）	予習
	16	前期期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社）9784384122633（I S B N）          エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」          を用意してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>ドイツ人と日本人のチームで授業をします。学科指定を守ってください。          テキストと「独和辞典」をもって出席すること。          授業の前には、テキストに付いているCDを聴いて発音の練習と予習をしておいてください。          また、適時、授業中に小テストをおこなうこともある。</p>
	<p>評価</p> <p>出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-漆谷 球美子 [全学科]	2年	k.bitw.72@gmail.com	

学びの準備	ねらい この授業は初めてドイツ語を学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し、書く・聞く・読む・話すことの習得を目指します。ドイツ語の発音ができるようになることに重点を置きます。	メッセージ 初心者にもわかりやすく教えます。会話練習やグループワークも多いですので、積極的に課題に取り組むようにしてください。また、ドイツ語以外にもドイツ文化や歴史についても学ぶことができます。ドイツに関心を持つことが重要です。授業内でドイツの都市について発表してもらいます。
	到達目標 自己紹介や家族紹介ができるようになる。ドイツ語の発音ができるようになる。現在人称変化や格変化などドイツ語の基本的な文法を習得することが出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業ガイダンス、ドイツについて、アルファベット	
	2	発音、挨拶、Lektion1	授業内で習った内容の復習
	3	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	4	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	5	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	6	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	7	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	8	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	9	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	10	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	11	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	12	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	13	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	14	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	15	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	16	Lektion2 動詞の現在人称変化（不規則動詞）、否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	17	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	18	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	19	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	20	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	21	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	22	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	23	Lektion3 格変化（定冠詞、不定冠詞 など）	授業内で習った内容の復習
	24	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習
	25	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習
	26	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習
	27	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習
	28	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習
	29	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習
30	Lektion4 格変化（所有冠詞、2格と3格）	授業内で習った内容の復習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：『入門ドイツ語プラクティッシュ』三修社（ISBN）978-4-384-12263-3 独和辞典を準備してください。（電子辞書も可）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          授業をしっかりと聞き、理解してください。わからない箇所は、授業内で質問できる時間を設けているので、その際に聞くようにしてください。また、ドイツに関心を持ってもらうために、ドイツの都市について発表を行っていただきます。</p>
	<p>評価          期末テスト30% 小テスト20% 発表30% 平常点 20% ただし、三分の一以上欠席した者には単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ ドイツ語Ⅰで身に着けた基本的な文法を、正しく使用できるようにしてください。ドイツ語検定なども実施していますので、自身のドイツ語学習を継続してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	ドイツ語 I は単語や短い文章に触れ、正しい発音を試みる。発音することでドイツ文化、芸術、さらにはヨーロッパの広範囲の国々の文化へも興味をもつきっかけとなっていくことを期待する。	教科書は文法の面で参考のために使用します。主に、プリントを中心にまとめられた文法をひとつに絞って、解かりやすく進めていきますので、楽しく自分のものになっていきます。前期が終了時には、いろんな文章が書けるようになっています！
到達目標	ドイツ語初級は、主語と動詞が正しく活用でき、短い文章が正しく組み立てられることができるようにする。また、発音ができるようになる、発音ができるようになる、または発音しようと努力することは、語学向上への基本姿勢であり、ゆっくりでも正しくはっきりと発音することで言葉が正しく相手に伝わり、学んだ文は早速に活かすことができる。授業への積極的な参加、として評価する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	登録ガイダンス、発音	
	2	発音、挨拶、自己紹介	
	3	規則動詞 1	
	4	規則動詞 2	
	5	規則動詞と疑問文	
	6	規則動詞と疑問詞のある疑問文	
	7	不規則動詞 1	
	8	不規則動詞 2	
	9	不規則動詞 3	
	10	不規則動詞 4	
	11	nichtと動詞	
	12	規則動詞と不規則動詞まとめ	
	13	前期中間試験	
	14	名詞の性	
	15	不定冠詞 1	
	16	不定冠詞 2	
	17	不定冠詞 3	
	18	定冠詞 1	
	19	定冠詞 2	
	20	定冠詞 1 格・4 格	
	21	定冠詞 4 格	
	22	不定冠詞類、否定冠詞類	
	23	否定冠詞	
	24	所有冠詞	
	25	人称代名詞	
	26	定冠詞類	
	27	数字、買い物、注文 1	
	28	数字、買い物、注文 2	
	29	指示代名詞	
30	人称代名詞格変化まとめ		
31	前期期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：入門ドイツ語プラクティッシュPraktisch.de（CD付き）2.700円＋税 三修社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          ①履修の心構え 授業には必ずテキストを購入し臨むこと。スマホなどの使用は禁止、授業内のプリント課題などに積極的に取り組むこと。授業開始時には、新しい文法の説明や復習等を行うので、なるべく大きな遅刻をしないこと。②学びを深めるために、授業内の課題は即取り組むこと。授業内でこなせない課題に関しては、自宅学習をして次回の受講時に持参すること。</p>
	<p>評価          評価方法：中間試験50%、期末試験50% 評価基準：授業出席数は3分の2以上に達していること。課題の提出状況。授業態度（授業への積極的な参加。）基礎（人称代名詞・規則動詞・良く使う不規則動詞）を正しく活用できているか。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          （1）関連科目・次のステージ：ドイツ語Ⅱ</p>



科目基本情報	科目名 ドイツ語 I	期 別	曜日・時限	単 位
		前期	月 4・木 4	2
	担当者 漆谷球美子(月)、クラウス・フランケ(木) [法律・地行]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1 年		

学びの準備	ねらい この授業は、現代口語ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得をめざす。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知る。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができるようになる。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得する。ドイツの現状を知ることで、ヨーロッパを透して世界の情勢の理解を促す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	担当者の自己紹介、授業に関するガイダンス。Das Alphabet	発音練習
	2	発音、母音、二重母音	発音練習
	3	発音、子音	発音練習
	4	Lektion 1 自己紹介：現在人称変化、規則動詞、sein	予習
	5	疑問詞のある疑問文、Ja/Nein	予習
	6	Lektion 2 余暇：現在人称変化、不規則動詞、haben	予習
	7	否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順	予習
	8	否定詞、1・2課のまとめ（人称変化を中心に）	予習
	9	Lektion 3 持ち物：名詞の性、定冠詞、不定冠詞	予習
	10	否定冠詞、所有冠詞	予習
	11	人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形	予習
	12	Lektion 4 家族：格変化	予習
	13	人称代名詞の3格	予習
	14	否定詞nichtと否定冠詞kein	予習
	15	3・4課のまとめ（名詞の格変化を中心に）	予習
	16	前期期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社）9784384122633（I S B N）          エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>ドイツ人と日本人のチームで授業をします。学科指定を守ってください。          テキストと「独和辞典」をもって出席すること。          授業の前には、テキストに付いているCDを聴いて発音の練習と予習をしておいてください。          また、適時、授業中に小テストをおこなうこともある。</p>
	<p>評価</p> <p>出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-漆谷 球美子 [全学科]	2年	k.bitw.72@gmail.com	

学びの準備	ねらい ドイツ語Ⅰを受講済みの学生を対象としています。前期に引き続き、ドイツ語の基本構造を理解し、より多くの会話をドイツ語で出来るようになることを目指します。	メッセージ 前期で学んだ内容を基に、授業を行ないます。様々なシチュエーションにおける会話をペアワークやグループワークを通して練習します。積極的に会話練習に参加するようにしてください。授業内発表もおこなってもらいます。またドイツやヨーロッパに対する興味を持って、授業にのぞんでください。
	到達目標 様々な場面における基本的な会話のフレーズを覚えることができる。前置詞や助動詞、過去形などの文法事項を学ぶことが出来る。道案内や一日のできごとを述べるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のイントロダクション、前期の復習	前期の復習
	2	前期の復習、Lektion5	前期の復習
	3	Lektion5	授業で習った内容の復習
	4	Lektion6 時刻の表現・分離動詞・命令形	授業で習った内容の復習
	5	Lektion6 時刻の表現・分離動詞・命令形	授業で習った内容の復習
	6	Lektion6 時刻の表現・分離動詞・命令形	授業で習った内容の復習
	7	Lektion6 時刻の表現・分離動詞・命令形	授業で習った内容の復習
	8	Lektion6 時刻の表現・分離動詞・命令形	授業で習った内容の復習
	9	Lektion7 助動詞	授業で習った内容の復習
	10	Lektion7 助動詞	授業で習った内容の復習
	11	Lektion7 助動詞	授業で習った内容の復習
	12	Lektion7 助動詞	授業で習った内容の復習
	13	Lektion7 助動詞	授業で習った内容の復習
	14	Lektion7 助動詞	授業で習った内容の復習
	15	Lekiton8 前置詞	授業で習った内容の復習
	16	Lekiton8 前置詞	授業で習った内容の復習
	17	Lekiton8 前置詞	授業で習った内容の復習
	18	Lekiton8 前置詞	授業で習った内容の復習
	19	Lekiton8 前置詞	授業で習った内容の復習
	20	Lekiton8 前置詞	授業で習った内容の復習
	21	Lektion9 過去形、現在完了形	授業で習った内容の復習
	22	Lektion9 過去形、現在完了形	授業で習った内容の復習
	23	Lektion9 過去形、現在完了形	授業で習った内容の復習
	24	Lektion9 過去形、現在完了形	授業で習った内容の復習
	25	Lektion9 過去形、現在完了形	授業で習った内容の復習
	26	Lektion9 過去形、現在完了形	授業で習った内容の復習
	27	Lekiton10 現在完了形、前置詞	授業で習った内容の復習
	28	Lekiton10 現在完了形、前置詞	授業で習った内容の復習
	29	Lekiton10 現在完了形、前置詞	授業で習った内容の復習
30	後期の復習	後期の復習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『入門ドイツ語プラクティッシュ』三修社 (ISBN)978-4-384-12263-3 独和辞典も準備してください (電子辞書可)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 授業をしっかりと聞いて、理解してください。わからない箇所は、授業内で聞くようにしてください。ペアワークやグループワークなどもしっかりと参加するようにしてください。各章が終わると小テストを行いません。</p>
	<p>評価 期末テスト30% 小テスト20% 発表30% 平常点20% ただし三分の一以上欠席した者には単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 1年間学習した初級ドイツ語知識を活用し、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」の授業でより高度な内容を学ぶことが出来ます。またドイツ語検定試験などで実力を試すこともお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [日文・社文]	1年		

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」を履修した学生を対象とする。ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続しながら更なるドイツ語力の向上をめざす。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができること。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得すること。異文化間の理解を通して、世界の現状を知ること。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション、前期の復習	前期の学習内容を復習
	2	Lektion 5: 買い物、指示代名詞	予習
	3	非人称主語es	予習
	4	小テスト、Lektion 6	予習
	5	Lektion 6: 一日の出来事、分離動詞・非分離動詞	予習
	6	命令形	予習
	7	小テスト、Lektion 7	予習
	8	Lektion 7: ショッピング、話法の助動詞	予習
	9	話法の助動詞、命令形	予習
	10	小テスト、Lektion 8	予習
	11	Lektion 8: 3格支配の前置詞、4格支配の前置詞	予習
	12	3・4格支配の前置詞、小テスト	予習
	13	Lektion 9: 動詞の三基本形、過去形	予習
	14	現在完了形	予習
	15	Lektion 10: 前置詞2、数詞	予習
	16	後期のまとめ、期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社） 9784354122633（I S B N）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 辞書を持っていくこと。CDを先に聴いておくこと。ドイツに限らず、ヨーロッパ、世界の事柄に関心を持つよ にする。</p>
	<p>評価 出席と課題、小テストと期末試験で評価する。。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	漆谷球美子(月)、クラウス・フランケ(木) [法律・地行]	1年		

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」を履修した学生を対象とする。ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続しながら更なるドイツ語力の向上をめざす。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができること。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得すること。異文化間の理解を通して、世界の現状を知ること。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション、前期の復習	前期の学習内容を復習
	2	Lektion 5: 買い物、指示代名詞	予習
	3	非人称主語es	予習
	4	小テスト、Lektion 6	予習
	5	Lektion 6: 一日の出来事、分離動詞・非分離動詞	予習
	6	命令形	予習
	7	小テスト、Lektion 7	予習
	8	Lektion 7: ショッピング、話法の助動詞	予習
	9	話法の助動詞、命令形	予習
	10	小テスト、Lektion 8	予習
	11	Lektion 8: 3格支配の前置詞、4格支配の前置詞	予習
	12	3・4格支配の前置詞、小テスト	予習
	13	Lektion 9: 動詞の三基本形、過去形	予習
	14	現在完了形	予習
	15	Lektion 10: 前置詞2、数詞	予習
	16	後期のまとめ、期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社） 9784354122633（I S B N）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 辞書を持っていくこと。CDを先に聴いておくこと。ドイツに限らず、ヨーロッパ、世界の事柄に関心を持つよ にする。</p>
	<p>評価 出席と課題、小テストと期末試験で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	クラウス・フランケ（月）、漆谷 球美子（木） [人福]	1年		

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」を履修した学生を対象とする。ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続しながら更なるドイツ語力の向上をめざす。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができること。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得すること。異文化間の理解を通して、世界の現状を知ること。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション、前期の復習	前期の学習内容を復習
	2	Lektion 5: 買い物、指示代名詞	予習
	3	非人称主語es	予習
	4	小テスト、Lektion 6	予習
	5	Lektion 6: 一日の出来事、分離動詞・非分離動詞	予習
	6	命令形	予習
	7	小テスト、Lektion 7	予習
	8	Lektion 7: ショッピング、話法の助動詞	予習
	9	話法の助動詞、命令形	予習
	10	小テスト、Lektion 8	予習
	11	Lektion 8: 3格支配の前置詞、4格支配の前置詞	予習
	12	3・4格支配の前置詞、小テスト	予習
	13	Lektion 9: 動詞の三基本形、過去形	予習
	14	現在完了形	予習
	15	Lektion 10: 前置詞2、数詞	予習
	16	後期のまとめ、期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社） 9784354122633（I S B N）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 辞書を持っていくこと。CDを先に聴いておくこと。ドイツに限らず、ヨーロッパ、世界の事柄に関心を持つよ にする。</p>
	<p>評価 出席と課題、小テストと期末試験で評価する。。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [全学科]	2年	授業終了後に教室で行います。	

学びの準備	ねらい ドイツ語Ⅰの文法をより意識的に確実なものにする。生涯学習を目指すねらい。	メッセージ 教科書や辞典などを見ながら、E-mailや簡単な手紙が書けるようになります。また、授業の中で文章を読む練習をしますので、簡単な会話ができるようになります。
	到達目標 ドイツ語Ⅰの基礎知識を活かし、プリント練習問題で前置詞や助動詞・現在完了形などをマスターする。同時に発音し、会話ができるようにする。これらの練習に積極的に参加する授業態度を高く評価する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業ガイダンス、文法復習	
	2	話法の助動詞 1	
	3	話法の助動詞 2	
	4	話法の助動詞 3	
	5	話法の助動詞 4、nicht	
	6	分離動詞 1	
	7	分離動詞 2	
	8	非分離動詞	
	9	時刻、分離動詞	
	10	前置詞 1	
	11	前置詞 2	
	12	前置詞 3	
	13	前置詞 4	
	14	前置詞 5	
	15	前置詞 6、道で	
	16	前置詞 7、道で	
	17	中間試験	
	18	gefallen	
	19	非人称es	
	20	指示代名詞das	
	21	指示代名詞 1格・4格	
	22	動詞の3基本形	
	23	現在完了形 1	
	24	現在完了形 2	
	25	現在完了形 3	
	26	現在完了形 4	
	27	現在完了形、nicht 5	
	28	Wie war das Wetter?	
	29	文法まとめ	
30	期末試験		
31	まとめと復習		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：入門ドイツ語プラクティッシュPraktisch.deCD付き（三修社） 2,700円＋税</p>
	<p>学びの手立て          ①履修の心構え ドイツ語 I を履修していること。②学びを深めるために 授業の中で与えられた課題を提出、もしくは宿題として次回に解答しますので、プリント課題は持参すること。また、課題綴りを作るなどの工夫をする。テキストはいつも持参すること。ドイツ語辞典の活用を推奨する。</p>
	<p>評価          評価：成績は出席数を重視し、課題提出、中間と期末試験の取り組み方を総合的に評価します。欠席が3分の1日数を超え、さらに期末試験を受けない場合は不可となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          関連科目・次のステージ：ドイツ語Ⅲ、Ⅳ</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 月3・木3	単位 2
	担当者 -東江 貴子 [経済・環政・企シ・産情・英米]	対象年次 1年	授業に関する問い合わせ	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」を履修した学生を対象とする。ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続しながら更なるドイツ語力の向上をめざす。	メッセージ
	到達目標 ドイツ語の発音ができること。日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得すること。異文化間の理解を通して、世界の現状を知ること。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション、前期の復習	前期の学習内容を復習
	2	Lektion 5: 買い物、指示代名詞	予習
	3	非人称主語es	予習
	4	小テスト、Lektion 6	予習
	5	Lektion 6: 一日の出来事、分離動詞・非分離動詞	予習
	6	命令形	予習
	7	小テスト、Lektion 7	予習
	8	Lektion 7: ショッピング、話法の助動詞	予習
	9	話法の助動詞、命令形	予習
	10	小テスト、Lektion 8	予習
	11	Lektion 8: 3格支配の前置詞、4格支配の前置詞	予習
	12	3・4格支配の前置詞、小テスト	予習
	13	Lektion 9: 動詞の三基本形、過去形	予習
	14	現在完了形	予習
	15	Lektion 10: 前置詞2、数詞	予習
	16	後期のまとめ、期末テスト	予習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社） 9784354122633（I S B N）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 辞書を持っていくこと。CDを先に聴いておくこと。ドイツに限らず、ヨーロッパ、世界の事柄に関心を持つよ にする。</p>
	<p>評価 出席と課題、小テストと期末試験で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [全学科]	2年	授業時にお知らせします。	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」と「Ⅱ」で学んだ発音や文法事項を復習しながら、ドイツ語能力を発展的に養ってゆきます。また、ドイツ語圏の文化や社会について具体的に学ぶ機会にできればと思っています。	メッセージ テキストは第一回目の授業で話し合いの上、決定します。関心のあるテーマについて要望を出して下さい。
	到達目標 ドイツ語検定3級から4級レベルのドイツ語力を目指します。最終的にはドイツ語圏の文化、社会、人々についての情報を、ひとりひとりがドイツ語で得られるようになることが目標です。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス。テキストの選定。	関心のあるテーマを挙げて下さい
	2	こちらで準備した教材を使用。	
	3	こちらで準備した教材を使用。	
	4	こちらで準備した教材を使用。	
	5	第4～第30週：選んだテキストに沿って授業を進める。	
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：第一回目に話し合いの上、決定します。  参考文献：ドイツ語Ⅰ・Ⅱで使用したテキストや辞書。中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社 2003 ISBN4-560-00492-7）  資料：授業時に随時紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>辞書（独和）を毎回持参してください。予習・復習を必ずして授業に臨んでください。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点（40％）と学期末試験（60％）。平常点は出席と課題による。場合によっては小テストを課すこともある。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目：ドイツ語Ⅳ</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [全学科]	2年	授業時にお知らせします。	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅲ」に続けて、ドイツ語能力を発展的に養ってゆきます。また、ドイツ語圏の文化や社会について具体的に学ぶ機会にできればと思っています。	メッセージ 「ドイツ語Ⅲ」で決めたテキストを引き続き使用します。
	到達目標 ドイツ語検定3級から4級レベルのドイツ語力を目指します。最終的にはドイツ語圏の文化、社会、人々についての情報を、ひとりひとりがドイツ語で得られるようになることが目標です。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1～第30週：選んだテキストに沿って授業を進める。	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：「ドイツ語Ⅲ」で決めたものを使用します。  参考文献：ドイツ語Ⅰ・Ⅱで使用したテキストや辞書。中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社 2003 ISBN4-560-00492-7）  資料：授業時に随時紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>辞書（独和）を毎回持参してください。予習・復習を必ずして授業に臨んでください。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点（40％）と学期末試験（60％）。平常点は出席と課題による。場合によっては小テストを課すこともある。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>とくになし。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [経済・環政・企シ・産情・日文]	1年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。	外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。
	到達目標	
	①フランス語で簡単な会話ができる。 ②フランス語の基礎的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	フランスとフランス語に親しむ	フランスについて理解を深める
	3	文字と発音	発音を繰り返し練習する
	4	挨拶	基本的な挨拶を学ぶ
	5	自己紹介	フランス語で自己紹介する
	6	主語人称代名詞	テキストに沿って学習する
	7	名詞の性と数・不定冠詞	同上
	8	動詞の活用 I	動詞êtreの活用
	9	数字	年齢の表現を学ぶ
	10	動詞の活用 II	動詞avoirの活用
	11	形容詞・定冠詞	テキストに沿って学習する
	12	強勢形・否定文	同上
	13	動詞の活用 III	-er動詞の活用
	14	指示形容詞・所有形容詞	テキストに沿って学習する
	15	前期の復習	前期のまとめ&テスト対策
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円  参考文献： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。  各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。  発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。  フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
学	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%)  小テスト (30%)  期末試験 (50%)  出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」（看板、店の名前、商品名など）にも注目し、フランス語の魅力に気づかせます！
到達目標	. 挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本（続き）	
	3	あいさつ・名前を言う	
	4	国籍を言う・出身を言う	
	5	自分の学問を言う・その他の便利な表現	
	6	親・祖父母の職業を言う	
	7	復習	
	8	話せる言語・住むところを言う	
	9	物を渡す・物を要求する	
	10	税関での取り組み	
	11	質問の言い方	
	12	復習	
	13	それは何ですか	
	14	家族を紹介する	
	15	家族を紹介する（続き）	
	16	したいことを言う	
	17	時間の言い方	
	18	時間軸に出来事を位置する	
	19	期間の言い方	
	20	義務を表す	
	21	窓口での取り組み	
	22	年齢を言う・数字	
	23	曜日名・月名・日付の言い方	
	24	交通機関	
	25	道を聞く・場所の位置	
	26	道順を教える・聞く	
	27	ホテルでの取り組み	
	28	お天気	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, OHKI Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的に行うことも大切です。  授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
学 の 継 続	<p>評価  小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p> <p>次のステージ・関連科目  後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。  全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！  教室内で使う「街角のフランス語」をマッピングするスマホアプリ：「Spotfrench」（i-Phoneのみ）を授業外でも積極的に使ってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-サジュ ジェレミ [英米・社文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 sajous.jeremy@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」（看板、店の名前、商品名など）にも注目し、フランス語の魅力に気づかせます！
	到達目標	
	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本（続き）	
	3	あいさつ・名前を言う	
	4	国籍を言う・出身を言う	
	5	自分の学問を言う・その他の便利な表現	
	6	親・祖父母の職業を言う	
	7	復習	
	8	話せる言語・住むところを言う	
	9	物を渡す・物を要求する	
	10	税関での取り組み	
	11	質問の言い方	
	12	復習	
	13	それは何ですか	
	14	家族を紹介する	
	15	家族を紹介する（続き）	
	16	したいことを言う	
	17	時間の言い方	
	18	時間軸に出来事を位置する	
	19	期間の言い方	
	20	義務を表す	
	21	窓口での取り組み	
	22	年齢を言う・数字	
	23	曜日名・月名・日付の言い方	
	24	交通機関	
	25	道を聞く・場所の位置	
	26	道順を教える・聞く	
	27	ホテルでの取り組み	
	28	お天気	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, OHKI Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>チェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にする 것도大切です。授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。  全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！  教室内で使う「街角のフランス語」をマッピングするスマホアプリ：「Spotfrench」（i-Phoneのみ）を授業外でも積極的に使ってみましょう。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。	外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。
到達目標	①フランス語で簡単な会話ができる。 ②フランス語の基礎的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	フランスとフランス語に親しむ	フランスについて理解を深める
	3	文字と発音	発音を繰り返し練習する
	4	挨拶	基本的な挨拶を学ぶ
	5	自己紹介	フランス語で自己紹介する
	6	主語人称代名詞	テキストに沿って学習する
	7	名詞の性と数・不定冠詞	同上
	8	動詞の活用 I	動詞êtreの活用
	9	数字	年齢の表現を学ぶ
	10	動詞の活用 II	動詞avoirの活用
	11	形容詞・定冠詞	テキストに沿って学習する
	12	強勢形・否定文	同上
	13	動詞の活用 III	-er動詞の活用
	14	指示形容詞・所有形容詞	テキストに沿って学習する
	15	前期の復習	前期のまとめ&テスト対策
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円  参考文献： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。  各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。  発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。  フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%)  小テスト (30%)  期末試験 (50%)  出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期のフランス語Ⅱへのステップとなるので、本講義の内容を見直し基礎をしっかりと固めた上で、フランス語検定取得やフランス留学も視野に入れた取り組みを行っていく。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [法律・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」（看板、店の名前、商品名など）にも注目し、フランス語の魅力に気づかせます！
	到達目標	
	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本（続き）	
	3	あいさつ・名前を言う	
	4	国籍を言う・出身を言う	
	5	自分の学問を言う・その他の便利な表現	
	6	親・祖父母の職業を言う	
	7	復習	
	8	話せる言語・住むところを言う	
	9	物を渡す・物を要求する	
	10	税関での取り組み	
	11	質問の言い方	
	12	復習	
	13	それは何ですか	
	14	家族を紹介する	
	15	家族を紹介する（続き）	
	16	したいことを言う	
	17	時間の言い方	
	18	時間軸に出来事を位置する	
	19	期間の言い方	
	20	義務を表す	
	21	窓口での取り組み	
	22	年齢を言う・数字	
	23	曜日名・月名・日付の言い方	
	24	交通機関	
	25	道を聞く・場所の位置	
	26	道順を教える・聞く	
	27	ホテルでの取り組み	
	28	お天気	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, OHKI Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的に行うことも大切です。</p> <p>授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。  全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！  教室内で使う「街角のフランス語」をマッピングするスマホアプリ：「Spotfrench」（i-Phoneのみ）を授業外でも積極的に使ってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ゲルハール フランク [地行・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	メッセージ 外国語の学習は大変難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。
	到達目標 挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本（続き）	
	3	あいさつ・名前を言う	
	4	国籍を言う・出身を言う	
	5	自分の学問を言う・その他の便利な表現	
	6	親・祖父母の職業を言う	
	7	復習	
	8	話せる言語・住むところを言う	
	9	物を渡す・物を要求する	
	10	税関での取り組み	
	11	質問の言い方	
	12	復習	
	13	それは何ですか	
	14	家族を紹介する	
	15	家族を紹介する（続き）	
	16	したいことを言う	
	17	時間の言い方	
	18	時間軸に出来事を位置する	
	19	期間の言い方	
	20	義務を表す	
	21	窓口での取り組み	
	22	年齢を言う・数字	
	23	曜日名・月名・日付の言い方	
	24	交通機関	
	25	道を聞く・場所の位置	
	26	道順を教える・聞く	
	27	ホテルでの取り組み	
	28	お天気	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, Ohki Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て  ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも行うことも大切です。</p>
	<p>評価  小テスト：60% ・ 口頭参加：20% ・ 期末テスト：20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  後期の授業の予習のためには夏休みの間前記で学んだ物を復習することを勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [経済・環政・企シ・産情・日文]	1年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>
到達目標	<p>①フランス語で旅行できる程度の会話を身につける。                  ②フランス語のより体系的な文法事項を理解する。                  ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	部分冠詞・疑問文	テキストに沿って学習する
	3	非人称構文	天候の表現を学ぶ
	4	動詞の活用Ⅰ	-ir動詞の活用
	5	近接未来・過去	動詞aller・venirの活用
	6	前置詞の用法	前置詞de・aの用法
	7	比較の表現	テキストに沿って学習する
	8	補語人称代名詞	同上
	9	可能・欲求・義務の表現	同上
	10	疑問形容詞	同上
	11	依頼・命令の表現	同上
	12	代名動詞	同上
	13	空間の表現	様々な前置詞を学ぶ
	14	食事の表現	語彙・文化紹介
	15	後期の復習	後期のまとめ&テスト対策
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円          仏和辞典： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。          各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。          発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。          フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。          ※必ず仏和辞書を用意すること。</p>
学 の 継 続	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%)          小テスト (30%)          期末試験 (50%)          出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p> <p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語Ⅲ・Ⅳに進むために必要な語学力と知識を身につけ、更なるレベルアップを目指す。          今後国際社会に必要な言語の一つとして、各自継続的に学んでいく方法と能力を獲得する。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します。</p> <p>到達目標</p> <p>①フランス語で旅行できる程度の会話力を身につける。                  ②フランス語のより体系的な文法事項を理解する。                  ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	部分冠詞・疑問文	テキストに沿って学習する
	3	非人称構文	天候の表現を学ぶ
	4	動詞の活用Ⅰ	-ir動詞の活用
	5	近接未来・過去	動詞aller・venirの活用
	6	前置詞の用法	前置詞de・aの用法
	7	比較の表現	テキストに沿って学習する
	8	補語人称代名詞	同上
	9	可能・欲求・義務の表現	同上
	10	疑問形容詞	同上
	11	依頼・命令の表現	同上
	12	代名動詞	同上
	13	空間の表現	様々な前置詞を学ぶ
	14	食事の表現	語彙・文化紹介
	15	後期の復習	後期のまとめ&テスト対策
	16	期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円          仏和辞典： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。          各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。          発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。          フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。          ※必ず仏和辞書を用意すること。</p>
学 の 継 続	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%)          小テスト (30%)          期末試験 (50%)          出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p> <p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語Ⅲ・Ⅳに進むために必要な語学力と知識を身につけ、更なるレベルアップを目指す。          今後国際社会に必要な言語の一つとして、各自継続的に学んでいく方法と能力を獲得する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-サジュ ジェレミ [英米・社文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 sajous.jeremy@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」（看板、店の名前、商品名など）にも注目し、フランス語の魅力に気づかせます！
	到達目標	
	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	前期の復習	
	3	失くしたものを・忘れたものを言う・聞く	
	4	最近したことを言う・聞く	
	5	経験したことを言う・聞く	
	6	好き嫌いを言う・聞く	
	7	活用の復習：様々な動詞	
	8	洋服屋での取り組み	
	9	比較する（サイズ、色、値段など）	
	10	意見を聞く	
	11	値段をたずねる	
	12	好みを表す	
	13	店員に在庫の有無を聞く	
	14	復習：様々な形容詞	
	15	丁寧なお願いをする	
	16	レストランでの注文ができる	
	17	感想を言う・聞く	
	18	習慣を言う・聞く	
	19	おススメを聞く	
	20	助言を言う	
	21	仮定文が使える（もし…があったら、…をしてもいいです。）	
	22	近接過去（～をしたばかり）・近接未来（～をする予定）が使える	
	23	義務・禁止を表す	
	24	盗難にあったとき説明することができる	
	25	警察署での取り組み	
	26	人を描写する	
	27	別れの挨拶	
	28	期末試験の準備のため：復習&模擬試験	
	29	期末試験の準備のため：復習&模擬試験	
30	期末試験の準備のため：復習&模擬試験		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, OHKI Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的に行うことも大切です。  授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価  小テスト（口頭＋筆記）：25％ ・ 口頭参加：25％ ・ 期末テスト：50％</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。  全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！  教室内で使う「街角のフランス語」をマッピングするスマホアプリ：「Spotfrench」（i-Phoneのみ）を授業外でも、これからも積極的に使ってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」（看板、店の名前、商品名など）にも注目し、フランス語の魅力に気づかせます！
	到達目標	
	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	前期の復習	
	3	失くしたものを・忘れたものを言う・聞く	
	4	最近したことを言う・聞く	
	5	経験したことを言う・聞く	
	6	好き嫌いを言う・聞く	
	7	活用の復習：様々な動詞	
	8	洋服屋での取り組み	
	9	比較する（サイズ、色、値段など）	
	10	意見を聞く	
	11	値段をたずねる	
	12	好みを表す	
	13	店員に在庫の有無を聞く	
	14	復習：様々な形容詞	
	15	丁寧なお願いをする	
	16	レストランでの注文ができる	
	17	感想を言う・聞く	
	18	習慣を言う・聞く	
	19	おススメを聞く	
	20	助言を言う	
	21	仮定文が使える（もし…があったら、…をしてもいいです。）	
	22	近接過去（～をしたばかり）・近接未来（～をする予定）が使える	
	23	義務・禁止を表す	
	24	盗難にあったとき説明することができる	
	25	警察署での取り組み	
	26	人を描写する	
	27	別れの挨拶	
	28	期末試験の準備のため：復習&模擬試験	
	29	期末試験の準備のため：復習&模擬試験	
30	期末試験の準備のため：復習&模擬試験		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, OHKI Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的に行うことも大切です。  授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価  小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。  全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！  教室内で使う「街角のフランス語」をマッピングするスマホアプリ：「Spotfrench」（i-Phoneのみ）を授業外でも、これからも積極的に使ってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [法律・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」（看板、店の名前、商品名など）にも注目し、フランス語の魅力に気づかせます！
到達目標	. 挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	前期の復習	
	3	失くしたものを・忘れたものを言う・聞く	
	4	最近したことを言う・聞く	
	5	経験したことを言う・聞く	
	6	好き嫌いを言う・聞く	
	7	活用の復習：様々な動詞	
	8	洋服屋での取り組み	
	9	比較する（サイズ、色、値段など）	
	10	意見を聞く	
	11	値段をたずねる	
	12	好みを表す	
	13	店員に在庫の有無を聞く	
	14	復習：様々な形容詞	
	15	丁寧なお願いをする	
	16	レストランでの注文ができる	
	17	感想を言う・聞く	
	18	習慣を言う・聞く	
	19	おススメを聞く	
	20	助言を言う	
	21	仮定文が使える（もし…があったら、…をしてもいいです。）	
	22	近接過去（～をしたばかり）・近接未来（～をする予定）が使える	
	23	義務・禁止を表す	
	24	盗難にあったとき説明することができる	
	25	警察署での取り組み	
	26	人を描写する	
	27	別れの挨拶	
	28	期末試験の準備のため：復習&模擬試験	
	29	期末試験の準備のため：復習&模擬試験	
30	期末試験の準備のため：復習&模擬試験		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, OHKI Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的に行うことも大切です。  授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価  小テスト（口頭＋筆記）：25％ ・ 口頭参加：25％ ・ 期末テスト：50％</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。  全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！  教室内で使う「街角のフランス語」をマッピングするスマホアプリ：「Spotfrench」（i-Phoneのみ）を授業外でも、これからも積極的に使ってみましょう。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ゲルハール フランク [地行・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	メッセージ 外国語の学習は大変難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。
	到達目標 挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期学んだものの復習 1	
	2	前期学んだものの復習 2	
	3	助動詞avoirを使う動詞の複合過去形	
	4	助動詞etreを使う動詞の複合過去形	
	5	代名動詞の現在形と原型の使い方	
	6	代名動詞の複合過去形	
	7	人を招待する	
	8	中生代名詞 y	
	9	意見を簡単に述べる	
	10	直接目的語代名詞	
	11	比較級	
	12	買い物をするに関する表現	
	13	趣味に関する表現（好き・嫌いなど）	
	14	指示代名詞	
	15	間接目的語代名詞	
	16	命令形と目的語代名詞	
	17	レストランで役立つ表現	
	18	注文する・単純未来形 1	
	19	半過去形 1	
	20	部分冠詞	
	21	分量副詞の使い方	
	22	on の使い方	
	23	半過去形 2	
	24	結果状態の表現	
	25	人の性格と体格を描写する	
	26	フランス語の直接法の時制のまとめ	
	27	条件を表す 1	
	28	条件を表す 2	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など  Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, Ohki Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て  ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも行うことも大切です。</p>
	<p>評価  小テスト：60% ・ 口頭参加：20% ・ 期末テスト：20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  後期の授業の予習のためには夏休みの間前記で学んだ物を復習することを勧めます。</p>

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅲ	期別	曜日・時限	単位
		前期	火2・金2	2
	担当者 -宮里 厚子	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		2年	授業後またはE-mail : miyazato@ll.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい フランス語I・IIで使用した教科書を使い、引き続き日常的な会話を通して基本的な表現や文法を学びます。他にも簡単な読み物に挑戦したり、日記や手紙などの作文、CDやDVDを使った聴き取りや書き取りにも取り組みます。また、フランスの文化や社会事情、生活習慣なども授業の中で随時紹介します。	メッセージ フランス語I・IIを履修して、フランスやフランス語に興味を持った学生の皆さんは、フランス語IIIの履修もお勧めします。この授業では、過去形をはじめさらに役に立つ語彙や文法事項を勉強しますので、表現の幅が増え、フランス語に触れることがより楽しくなってくると思います。
	到達目標 フランス語IIIの授業では、日常的な行動を表すための動詞の活用や過去を表す表現、時間・天気を表す表現などが使えるようになることが目標です。そしてこれらの表現を習得することにより、自分の身の周りのことや自分のしたことを辞書に頼らなくても表現できるような言語レベルを目指します。また、フランスの文化や社会事情、生活習慣などをより深く理解し興味を持ってもらうことも目標とします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習内容を振り返る
	2	フランス語I・IIの復習	これまでの学習内容を振り返る
	3	フランス語I・IIの復習	これまでの学習内容を振り返る
	4	第7課：日課をいう (1)	代名動詞の復習
	5	第7課：日課をいう (2)	日常生活の行動を表現する
	6	第7課：時間をいう (1)	時間の言い方の復習
	7	第7課：時間をいう (2)	自分のスケジュールをいう
	8	第7課：天気をいう	天気の言い方の復習
	9	第7課：「急ぐ」「起きる」などの命令形	代名動詞の命令形の復習
	10	第8課：探し物を確かめる	直接目的語代名詞の復習
	11	第8課：〃	〃
	12	第8課：電話の相手を確認する	間接目的語代名詞の復習
	13	第8課：〃	〃
	14	第8課：誰の持ち物か確かめる	指示代名詞の復習
	15	第8課：〃	所有代名詞の復習
	16	第9課：昨日したことをたずねる	複合過去形 (1) の復習
	17	第9課：〃	〃
	18	第9課：昨日行ったところについてたずねる	複合過去形 (2) の復習
	19	第9課：〃	自分のしたことを表現する
	20	第9課：昨日寝た時刻についてたずねる	複合過去形 (3) の復習
	21	第9課：〃	昨日のスケジュールをいう
	22	第12課：子供のころ好きだったものについて話す	半過去形の復習
	23	第12課：子供のころ好きだったことについて話す	過去の習慣をいう
	24	第12課：過去のある時点の行動について話す	半過去と複合過去の違いの復習
	25	第12課：〃	〃
	26	第12課：思い出に関わることについて話す	思い出を語る
	27	第12課：〃	〃
	28	まとめ	テストに向けての総復習
	29	まとめ	〃
	30	まとめ	〃
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストはフランス語I・IIで使用したものと同一：『Au pas, camarade!－足並みそろえて、フランス語』（改訂版）、藤本武司、藤田義孝、井上直子、柏木加代子、柏木隆雄、上江洲律子著、駿河台出版社</p> <p>参考書：仏和辞書各種</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>この授業を履修するには、「フランス語I・II」を履修済みか同等の知識があることが条件です。「I・II」の内容をすべて把握していなくても、復習しながら進めますので、毎回休まずに出席することが大切です。また、フランス語を身に付けてもらうためには授業外での努力も必要ですので、課題の提出や教科書付属CDでの自主学習が求められます。</p>
	<p>評価</p> <p>筆記テスト（動詞の小テスト、期末テスト）：50%</p> <p>課題提出：30%</p> <p>発音のテスト：20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語IIIの継続科目として、フランス語IVが提供されています。2年間週2回のフランス語学習を続けることで、フランスの大学への交換留学の可能性も広がります。また、力試しとして沖縄で年2回実施される「仏検（フランス語技能検定試験）」にもチャレンジできます。</p>

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅳ	期別 後期	曜日・時限 火2・金2	単位 2
	担当者 -宮里 厚子 [全学科]	対象年次 2年	授業に関する問い合わせ miyazato@11.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい フランス語IIIに引き続き、教科書の会話の練習や文法事項の理解、練習問題等に取り組みながら、やさしい読み物や様々なメディアも取り上げ、さらに実践的なフランス語が身につくよう学習していきます。フランスの文化、社会事情、生活習慣に関しても引き続き触れ、理解が深まるようにしていきます。	メッセージ フランス語Ⅳを履修すると、フランス語の主要な時制や文法事項を学習することになり、自分の言いたいことはだいたい表現できるようになります。そうすると、フランス語話者とのコミュニケーションがさらに楽しくなると思います。
	到達目標 フランス語Ⅳでは、比較の表現や未来形、仮定や願望、同時性を表す表現など様々な時制や表現方法を学ぶことにより、日常の多様な場面に対応できるような実践的レベルのフランス語の習得を目指します。また、引き続きフランスの文化や社会事情、生活習慣などに対する興味と理解を深め、自分でもフランス語で情報収集できるようになることも目標とします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	仏語IIIまでの内容を振り返る
	2	フランス語IIIの復習	//
	3	//	//
	4	第10課：2人の背の高さをくらべる	形容詞の比較表現を復習
	5	第10課：2人の歩く速さをくらべる	副詞の比較表現を復習
	6	第10課：家族で一番背の高い人は誰かをいう	形容詞の最上級の復習
	7	第10課：家族で一番早く起きるのは誰かをいう	副詞の最上級の復習
	8	第10課：人・ものを説明する	関係代名詞の復習
	9	第10課：ある人物が好きなのは誰かをたずねる	協調構文の復習
	10	第11課：将来の夢を話す	未来形の復習
	11	第11課：//	//
	12	第11課：未来のことを話す	//
	13	第11課：明日の予定を説明する	//
	14	第11課：何かをしながら、予定を話す	ジェロンディフの復習
	15	第11課：//	//
	16	第13課：できないことについて話す	条件法現在の復習
	17	第13課：//	//
	18	第13課：//	//
	19	第13課：したいことをやわらかく伝える	ていねいな言い方の復習
	20	第13課：他の人の予定を伝える	間接話法の復習
	21	第13課：//	//
	22	第14課：してほしいことを頼む	接続法の復習
	23	第14課：//	//
	24	第14課：そうは思わないことをいってみよう	//
	25	第14課：ある人だけに頼んでみる	//
	26	第14課：状況は悪いけれど、なんとかしたい	//
	27	第14課：希望、期待をいう	//
	28	まとめ	テストに向けての総復習
	29	まとめ	//
	30	まとめ	//
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストはフランス語I・IIで使用したものと同一：『Au pas, camarade!一足並みそろえて、フランス語』（改訂版）、藤本武司、藤田義孝、井上直子、柏木加代子、柏木隆雄、上江洲律子著、駿河台出版社</p> <p>参考書：仏和辞書各種</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>この授業を履修するには、「フランス語III」を履修済みか同等の知識があることが条件です。ほぼ毎回新しい文法事項が出てきますので、毎回休まずに出席することが大切です。また、フランス語を身に付けてもらうためには授業外での努力も必要ですので、課題の提出や教科書付属CDでの自主学習が求められます。</p>
	<p>評価</p> <p>筆記テスト（動詞の小テスト、期末テスト）：50%</p> <p>課題提出：30%</p> <p>発音のテスト：20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業履修後には、上級クラスである「外国語研究I・II」を受講することができます。また、沖縄で年2回実施される「仏検（フランス語技能検定試験）」の受験、さらにレンヌ第2大学への交換留学にチャレンジすることが可能です。</p>